

工 種	道路打換え工
-----	--------

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考
	④ 道路打換え工 1. 適用範囲 本資料は、維持修繕アスファルト舗装工のうち、舗装版とりこわしから舗装までを急速施工する日当り平均作業量が50m²以上420m²以下の現道打換え工事に適用する。ただし、日当り平均作業量が50m²未満の場合は「3－2工法の選定」による。 舗装版とは、コンクリート層及びアスファルト層を総称している。 アスファルト混合物の積算は購入方式を標準とし、プラント方式の場合は別途考慮する。 また、排水性舗装、シックリフト工法、Q R P工法等並びに、舗装版破碎工には適用しない。 2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。 図2－1 施工フロー IV-3-④-1	④ 道路打換え工 1. 適用範囲 本資料は、維持修繕アスファルト舗装工のうち、舗装版とりこわしから舗装までを急速施工する現道打換え工事に適用する。ただし、交差点内の施工を含みかつ従道路側の交通規制を伴う交差点部の施工に際し、交差点部を小規模に分割し施工する場合は、当該交差点部分のみ別途考慮する。 舗装版とは、コンクリート層及びアスファルト層を総称している。 アスファルト混合物の積算は購入方式を標準とし、プラント方式の場合は別途考慮する。 1－1 適用出来る範囲 (1) 日当り平均作業量が50m²以上420m²以下の場合 1－2 適用出来ない範囲 (1) 急速施工（舗装版とりこわしから舗装までを1日で完了する施工）ではない場合 (2) 舗装版破碎工（舗装版とりこわし及び掘削積込）のみを施工する場合 (3) 排水性舗装、シックリフト工法、Q R P工法等を施工する場合 2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。 図2－1 施工フロー (注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
積算上の注意事項			(控え頁) 1／6

工 種	道路打換え工
-----	--------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																																							
現 行				改 正				備 考																																																																																																					
3. 機種 の 選 定 等 3-1 機種 の 選 定 等 機械・規格は、図3-1及び表3. 1を標準とする。 <table><tr><th rowspan="2">工 種</th><th rowspan="2">舗装版切 断</th><th rowspan="2">条件 a</th><th rowspan="2">条件 b</th><th rowspan="2">とりこわし</th><th rowspan="2">掘削</th><th rowspan="2">積込み</th><th rowspan="2">条件 c</th><th colspan="2">路床及び路盤</th><th colspan="2">舗 装 版</th></tr><tr><th>敷 均 し</th><th>転 圧</th><th>敷 均 し</th><th>転 圧</th></tr><tr><td rowspan="4">使用機械</td><td rowspan="4">コンクリートカッタ別途計上</td><td rowspan="2">騒音、振動対策技術指針の適用地域等(注)1</td><td rowspan="2">超えるもの</td><td rowspan="2">コンクリート圧砕装置＋バックホウ(ベスマシン)</td><td rowspan="2">バックホウ</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">1箇所当りの作業量</td><td colspan="2" rowspan="2">「第IV編第1章①ー1路盤工」及び「第IV編第1章②ー1アスファルト舗装工」(平均幅員1.4m未満)による。</td><td colspan="2" rowspan="2"></td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">上記以外の地域(注)3</td><td rowspan="3">とりこわし舗装版厚さ15cm以下</td><td rowspan="2">大型ブレーカ(ベスマシン)</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="3">幅員2.5mかつ作業延長20m</td><td rowspan="2">未満</td><td rowspan="4">小型バックホウ</td><td rowspan="2">タイヤローラ</td><td rowspan="4">タイヤローラ</td></tr><tr></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2">バ ッ ク ホ ウ (直接掘削積込)</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">振動ローラ</td><td colspan="2">振動ローラ</td></tr></table> (注) 1. 「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」の第2章適用範囲に示す地域等。 2. とりこわし舗装版の厚さが15cm以下の場合は、バックホウによる直接掘削積込を標準とする。施工については、以下の工種から選定すること。 とりこわし：大型ブレーカ又はコンクリート圧砕装置により舗装版のみ破砕する作業 掘 削 積 込：大型ブレーカ又はコンクリート圧砕装置により舗装版を破砕後、バックホウにより舗装版、路盤・路床材を各々又は同時に掘削し、積込む作業 直接掘削積込：バックホウにより直接舗装版、路盤・路床材を各々又は同時に掘削し、積込む作業 3. 条件aで「上記以外の地域」となった場合においても、施工上、騒音振動対策が必要となった場合は、コンクリート圧砕装置又は舗装版の厚さにかかわらずバックホウによる直接掘削積込も選定することが出来る。 4. コンクリート圧砕装置を選定した場合には、使用するバックホウについては、超低騒音型建設機械を用いること。				工 種	舗装版切 断	条件 a	条件 b	とりこわし	掘削	積込み	条件 c	路床及び路盤		舗 装 版		敷 均 し	転 圧	敷 均 し	転 圧	使用機械	コンクリートカッタ別途計上	騒音、振動対策技術指針の適用地域等(注)1	超えるもの	コンクリート圧砕装置＋バックホウ(ベスマシン)	バックホウ		1箇所当りの作業量	「第IV編第1章①ー1路盤工」及び「第IV編第1章②ー1アスファルト舗装工」(平均幅員1.4m未満)による。				上記以外の地域(注)3	とりこわし舗装版厚さ15cm以下	大型ブレーカ(ベスマシン)			幅員2.5mかつ作業延長20m	未満	小型バックホウ	タイヤローラ	タイヤローラ					バ ッ ク ホ ウ (直接掘削積込)				振動ローラ		振動ローラ		3. 機種 の 選 定 等 3-1 機種 の 選 定 等 機械・規格は、図3-1及び表3. 1を標準とする。 <table><tr><th rowspan="2">工 種</th><th rowspan="2">舗装版切 断</th><th rowspan="2">条件 a</th><th rowspan="2">条件 b</th><th rowspan="2">とりこわし</th><th rowspan="2">掘削</th><th rowspan="2">積込み</th><th rowspan="2">条件 c</th><th colspan="2">路床及び路盤</th><th colspan="2">舗 装 版</th></tr><tr><th>敷 均 し</th><th>転 圧</th><th>敷 均 し</th><th>転 圧</th></tr><tr><td rowspan="4">使用機械</td><td rowspan="4">コンクリートカッタ別途計上</td><td rowspan="2">騒音、振動対策技術指針の適用地域等(注)1</td><td rowspan="2">超えるもの</td><td rowspan="2">コンクリート圧砕装置＋バックホウ(ベスマシン)</td><td rowspan="2">バックホウ</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">平均幅員</td><td colspan="2" rowspan="2">「第IV編第1章①ー1路盤工」及び「第IV編第1章②ー1アスファルト舗装工」(平均幅員1.4m未満)による。</td><td colspan="2" rowspan="2"></td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">上記以外の地域(注)3</td><td rowspan="5">とりこわし舗装版厚さ15cm以下</td><td rowspan="2">大型ブレーカ(ベスマシン)</td><td rowspan="5"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="3">2.5m</td><td rowspan="2">未満</td><td rowspan="3">小型バックホウ</td><td rowspan="2">タイヤローラ</td><td rowspan="3">タイヤローラ</td></tr><tr></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2">バ ッ ク ホ ウ (直接掘削積込)</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">振動ローラ</td><td colspan="2">振動ローラ</td></tr></table> (注) 1. 「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」の第2章適用範囲に示す地域等。 2. とりこわし舗装版の厚さが15cm以下の場合は、バックホウによる直接掘削積込を標準とする。施工については、以下の工種から選定すること。 とりこわし：大型ブレーカ又はコンクリート圧砕装置により舗装版のみ破砕する作業 掘 削 積 込：大型ブレーカ又はコンクリート圧砕装置により舗装版を破砕後、バックホウにより舗装版、路盤・路床材を各々又は同時に掘削し、積込む作業 直接掘削積込：バックホウにより直接舗装版、路盤・路床材を各々又は同時に掘削し、積込む作業 3. 条件aで「上記以外の地域」となった場合においても、施工上、騒音振動対策が必要となった場合は、コンクリート圧砕装置又は舗装版の厚さにかかわらずバックホウによる直接掘削積込も選定することが出来る。 4. コンクリート圧砕装置を選定した場合には、使用するバックホウについては、超低騒音型建設機械を用いること。				工 種	舗装版切 断	条件 a	条件 b	とりこわし	掘削	積込み	条件 c	路床及び路盤		舗 装 版		敷 均 し	転 圧	敷 均 し	転 圧	使用機械	コンクリートカッタ別途計上	騒音、振動対策技術指針の適用地域等(注)1	超えるもの	コンクリート圧砕装置＋バックホウ(ベスマシン)	バックホウ		平均幅員	「第IV編第1章①ー1路盤工」及び「第IV編第1章②ー1アスファルト舗装工」(平均幅員1.4m未満)による。				上記以外の地域(注)3	とりこわし舗装版厚さ15cm以下	大型ブレーカ(ベスマシン)			2.5m	未満	小型バックホウ	タイヤローラ	タイヤローラ					バ ッ ク ホ ウ (直接掘削積込)				振動ローラ		振動ローラ		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
工 種	舗装版切 断	条件 a	条件 b									とりこわし	掘削	積込み	条件 c	路床及び路盤		舗 装 版																																																																																											
				敷 均 し	転 圧	敷 均 し	転 圧																																																																																																						
使用機械	コンクリートカッタ別途計上	騒音、振動対策技術指針の適用地域等(注)1	超えるもの	コンクリート圧砕装置＋バックホウ(ベスマシン)	バックホウ		1箇所当りの作業量	「第IV編第1章①ー1路盤工」及び「第IV編第1章②ー1アスファルト舗装工」(平均幅員1.4m未満)による。																																																																																																					
		上記以外の地域(注)3	とりこわし舗装版厚さ15cm以下	大型ブレーカ(ベスマシン)			幅員2.5mかつ作業延長20m	未満	小型バックホウ	タイヤローラ	タイヤローラ																																																																																																		
				バ ッ ク ホ ウ (直接掘削積込)				振動ローラ		振動ローラ																																																																																																			
工 種	舗装版切 断	条件 a	条件 b	とりこわし	掘削	積込み	条件 c	路床及び路盤		舗 装 版																																																																																																			
								敷 均 し	転 圧	敷 均 し	転 圧																																																																																																		
使用機械	コンクリートカッタ別途計上	騒音、振動対策技術指針の適用地域等(注)1	超えるもの	コンクリート圧砕装置＋バックホウ(ベスマシン)	バックホウ		平均幅員	「第IV編第1章①ー1路盤工」及び「第IV編第1章②ー1アスファルト舗装工」(平均幅員1.4m未満)による。																																																																																																					
		上記以外の地域(注)3	とりこわし舗装版厚さ15cm以下	大型ブレーカ(ベスマシン)			2.5m	未満	小型バックホウ	タイヤローラ	タイヤローラ																																																																																																		
				バ ッ ク ホ ウ (直接掘削積込)				振動ローラ		振動ローラ																																																																																																			
図3-1 機種 の 選 定				図3-1 機種 の 選 定																																																																																																									
IV-3-④-2																																																																																																													
積算上の注意事項								(控え頁)																																																																																																					
								2/6																																																																																																					

図3-1 機種の選定

図3-1 機種の選定

工 種	道路打換え工
-----	--------

改 正 理 由		一部改正				改 正																																																																																																																											
現 行		改 正		備 考																																																																																																																													
表3. 1 機種を選定 <table><tr><th>作業種別</th><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>直接掘削積込</td><td rowspan="2">バックホウ (クローラ型)</td><td>標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)</td><td>台</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>掘削積込</td><td>山積0.45m³(平積0.35m³)</td><td>"</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">コンクリート圧砕装置 によるとりこわし</td><td>バックホウ用アタッチメント [コンクリート圧砕装置 (小割機)]</td><td>開口幅730mm 破砕力600kN</td><td>"</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>(コンクリート圧砕装置ベースマシン) バックホウ(クローラ型)</td><td>標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m³(平積0.35m³)</td><td>"</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>大型ブレーカによる とりこわし</td><td>大型ブレーカ</td><td>油圧ブレーカ バケット容量0.2m³対応 ベースマシン含む 超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)</td><td>"</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>路床及び路盤の敷均し</td><td>小型バックホウ (クローラ型)</td><td>標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.09～0.11m³(平積0.07～0.08m³)</td><td>"</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>舗装の敷均し</td><td>アスファルト フィニッシャ</td><td>ホイール型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 舗装幅2.3～6.0m</td><td>"</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">路床及び路盤の転圧 舗装の転圧</td><td rowspan="2">タイヤローラ</td><td>普通型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量8～20t</td><td>"</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td></td><td>"</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>路床及び路盤の転圧 舗装の転圧</td><td>振動ローラ(舗装用)</td><td>搭乗・コンバインド式・ 低騒音型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量3～4t</td><td>"</td><td>1</td><td></td></tr></table> (注) バックホウ、(コンクリート圧砕装置ベースマシン) バックホウ、大型ブレーカ、アスファルトフィニッシャ、 タイヤローラ、振動ローラ(舗装用)は賃料とする。 IV-3-④-3		作業種別	機 械 名	規 格	単位	数量	摘 要	直接掘削積込	バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)	台	1		掘削積込	山積0.45m³(平積0.35m³)	"	1		コンクリート圧砕装置 によるとりこわし	バックホウ用アタッチメント [コンクリート圧砕装置 (小割機)]	開口幅730mm 破砕力600kN	"	1		(コンクリート圧砕装置ベースマシン) バックホウ(クローラ型)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m³(平積0.35m³)	"	1		大型ブレーカによる とりこわし	大型ブレーカ	油圧ブレーカ バケット容量0.2m³対応 ベースマシン含む 超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)	"	1		路床及び路盤の敷均し	小型バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.09～0.11m³(平積0.07～0.08m³)	"	1		舗装の敷均し	アスファルト フィニッシャ	ホイール型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 舗装幅2.3～6.0m	"	1		路床及び路盤の転圧 舗装の転圧	タイヤローラ	普通型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量8～20t	"	1			"	1		路床及び路盤の転圧 舗装の転圧	振動ローラ(舗装用)	搭乗・コンバインド式・ 低騒音型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量3～4t	"	1		表3. 1 機種を選定 <table><tr><th>作業種別</th><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>直接掘削積込</td><td rowspan="2">バックホウ (クローラ型)</td><td>標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)</td><td>台</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>掘削積込</td><td>バケット容量0.45m3</td><td>"</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">コンクリート圧砕装置 によるとりこわし</td><td>バックホウ用アタッチメント [コンクリート圧砕装置 (小割機)]</td><td>開口幅730mm 破砕力600kN</td><td>"</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>(コンクリート圧砕装置ベースマシン) バックホウ(クローラ型)</td><td>標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.45m3</td><td>"</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>大型ブレーカによる とりこわし</td><td>大型ブレーカ</td><td>油圧ブレーカ バケット容量0.2m³対応 ベースマシン含む 超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)</td><td>"</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>路床及び路盤の敷均し</td><td>小型バックホウ (クローラ型)</td><td>標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.09～0.11m3</td><td>"</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>舗装の敷均し</td><td>アスファルト フィニッシャ</td><td>ホイール型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 舗装幅2.3～6.0m</td><td>"</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">路床及び路盤の転圧 舗装の転圧</td><td rowspan="2">タイヤローラ</td><td>普通型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13～24t</td><td>"</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td></td><td>"</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>路床及び路盤の転圧 舗装の転圧</td><td>振動ローラ(舗装用)</td><td>搭乗・コンバインド式・ 超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 運転質量3～4t</td><td>"</td><td>1</td><td></td></tr></table> (注) バックホウ、(コンクリート圧砕装置ベースマシン) バックホウ、大型ブレーカ、アスファルトフィニッシャ、 タイヤローラ、振動ローラ(舗装用)は賃料とする。		作業種別	機 械 名	規 格	単位	数量	摘 要	直接掘削積込	バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)	台	1		掘削積込	バケット容量0.45m3	"	1		コンクリート圧砕装置 によるとりこわし	バックホウ用アタッチメント [コンクリート圧砕装置 (小割機)]	開口幅730mm 破砕力600kN	"	1		(コンクリート圧砕装置ベースマシン) バックホウ(クローラ型)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.45m3	"	1		大型ブレーカによる とりこわし	大型ブレーカ	油圧ブレーカ バケット容量0.2m³対応 ベースマシン含む 超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)	"	1		路床及び路盤の敷均し	小型バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.09～0.11m3	"	1		舗装の敷均し	アスファルト フィニッシャ	ホイール型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 舗装幅2.3～6.0m	"	1		路床及び路盤の転圧 舗装の転圧	タイヤローラ	普通型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13～24t	"	1			"	1		路床及び路盤の転圧 舗装の転圧	振動ローラ(舗装用)	搭乗・コンバインド式・ 超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 運転質量3～4t	"	1		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
作業種別	機 械 名	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																												
直接掘削積込	バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)	台	1																																																																																																																													
掘削積込		山積0.45m³(平積0.35m³)	"	1																																																																																																																													
コンクリート圧砕装置 によるとりこわし	バックホウ用アタッチメント [コンクリート圧砕装置 (小割機)]	開口幅730mm 破砕力600kN	"	1																																																																																																																													
	(コンクリート圧砕装置ベースマシン) バックホウ(クローラ型)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m³(平積0.35m³)	"	1																																																																																																																													
大型ブレーカによる とりこわし	大型ブレーカ	油圧ブレーカ バケット容量0.2m³対応 ベースマシン含む 超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)	"	1																																																																																																																													
路床及び路盤の敷均し	小型バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.09～0.11m³(平積0.07～0.08m³)	"	1																																																																																																																													
舗装の敷均し	アスファルト フィニッシャ	ホイール型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 舗装幅2.3～6.0m	"	1																																																																																																																													
路床及び路盤の転圧 舗装の転圧	タイヤローラ	普通型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量8～20t	"	1																																																																																																																													
			"	1																																																																																																																													
路床及び路盤の転圧 舗装の転圧	振動ローラ(舗装用)	搭乗・コンバインド式・ 低騒音型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量3～4t	"	1																																																																																																																													
作業種別	機 械 名	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																												
直接掘削積込	バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)	台	1																																																																																																																													
掘削積込		バケット容量0.45m3	"	1																																																																																																																													
コンクリート圧砕装置 によるとりこわし	バックホウ用アタッチメント [コンクリート圧砕装置 (小割機)]	開口幅730mm 破砕力600kN	"	1																																																																																																																													
	(コンクリート圧砕装置ベースマシン) バックホウ(クローラ型)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.45m3	"	1																																																																																																																													
大型ブレーカによる とりこわし	大型ブレーカ	油圧ブレーカ バケット容量0.2m³対応 ベースマシン含む 超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)	"	1																																																																																																																													
路床及び路盤の敷均し	小型バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.09～0.11m3	"	1																																																																																																																													
舗装の敷均し	アスファルト フィニッシャ	ホイール型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 舗装幅2.3～6.0m	"	1																																																																																																																													
路床及び路盤の転圧 舗装の転圧	タイヤローラ	普通型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13～24t	"	1																																																																																																																													
			"	1																																																																																																																													
路床及び路盤の転圧 舗装の転圧	振動ローラ(舗装用)	搭乗・コンバインド式・ 超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 運転質量3～4t	"	1																																																																																																																													
積算上の注意事項				(控え頁) 3／6																																																																																																																													

工 種	道路打換え工
-----	--------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行																																																
現	行	改 正	備 考																																															
5－3 諸雑費 諸雑費は、瀝青材料及び散布費用，加熱器具燃料費，チゼル損耗費（大型コンクリートブレーカのみ），すりつけ作業等の費用であり，労務費，材料費，機械損料，機械賃料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 表5.5 諸雑费率（％） <table><tr><th rowspan="2">すりつけ作業 施工範囲</th><th colspan="2">すりつけ作業の計上</th></tr><tr><th>有 り</th><th>無 し</th></tr><tr><td>全 層 打 換 え の 場 合</td><td>7</td><td>3</td></tr><tr><td>舗装版のみの打換えの場合</td><td>9</td><td>4</td></tr></table> (注)「全層打換え」とは，下層路盤又は路床まで打換える場合とする。 5－4 道路打換え工事の運転日当り運転時間 運転日当り運転時間は，次表を標準とする。 表5.6 運転日当り運転時間(T) <table><tr><th rowspan="2">項目 機械名</th><th colspan="2">運転日当り運転時間 T(h／日)</th></tr><tr><th>全層打換えの 場 合</th><th>舗装版のみの 打換えの場合</th></tr><tr><td>大 型 ブ レ ー カ</td><td>1.8</td><td>1.9</td></tr><tr><td>コ ン ク リ ー ト 圧 碎 装 置</td><td>1.8</td><td>1.9</td></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)</td><td>3.8</td><td>2.6</td></tr><tr><td>小 型 バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)</td><td>3.2</td><td>2.3</td></tr><tr><td>タ イ ヤ ロ ー ラ</td><td>4.6</td><td>4.9</td></tr><tr><td>振 動 ロ ー ラ (舗 装 用)</td><td>4.6</td><td>4.8</td></tr><tr><td>アスファルトフィニッシャ</td><td>2.2</td><td>2.7</td></tr></table> (注) 1．現場条件により，上表により難しい場合は，別途考慮する。 2．運転時間 T は，運転労務算出に用いる。	すりつけ作業 施工範囲	すりつけ作業の計上		有 り	無 し	全 層 打 換 え の 場 合	7	3	舗装版のみの打換えの場合	9	4	項目 機械名	運転日当り運転時間 T(h／日)		全層打換えの 場 合	舗装版のみの 打換えの場合	大 型 ブ レ ー カ	1.8	1.9	コ ン ク リ ー ト 圧 碎 装 置	1.8	1.9	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	3.8	2.6	小 型 バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	3.2	2.3	タ イ ヤ ロ ー ラ	4.6	4.9	振 動 ロ ー ラ (舗 装 用)	4.6	4.8	アスファルトフィニッシャ	2.2	2.7	5－3 諸雑費 諸雑費は、瀝青材料及び散布費用，加熱器具燃料費，チゼル損耗費（大型コンクリートブレーカのみ），すりつけ作業等の費用であり，労務費，材料費，機械損料，機械賃料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 表5.5 諸雑费率（％） <table><tr><th rowspan="2">すりつけ作業 施工範囲</th><th colspan="2">すりつけ作業の計上</th></tr><tr><th>有 り</th><th>無 し</th></tr><tr><td>全 層 打 換 え の 場 合</td><td>7</td><td>3</td></tr><tr><td>舗装版のみの打換えの場合</td><td>9</td><td>4</td></tr></table> (注) 1．「全層打換え」とは，下層路盤又は路床まで打換える場合とする。 2．「舗装版のみの打換え」には，上層路盤までの打換えを含む。 記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う) 現行どおり	すりつけ作業 施工範囲	すりつけ作業の計上		有 り	無 し	全 層 打 換 え の 場 合	7	3	舗装版のみの打換えの場合	9	4	
すりつけ作業 施工範囲		すりつけ作業の計上																																																
	有 り	無 し																																																
全 層 打 換 え の 場 合	7	3																																																
舗装版のみの打換えの場合	9	4																																																
項目 機械名	運転日当り運転時間 T(h／日)																																																	
	全層打換えの 場 合	舗装版のみの 打換えの場合																																																
大 型 ブ レ ー カ	1.8	1.9																																																
コ ン ク リ ー ト 圧 碎 装 置	1.8	1.9																																																
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	3.8	2.6																																																
小 型 バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	3.2	2.3																																																
タ イ ヤ ロ ー ラ	4.6	4.9																																																
振 動 ロ ー ラ (舗 装 用)	4.6	4.8																																																
アスファルトフィニッシャ	2.2	2.7																																																
すりつけ作業 施工範囲	すりつけ作業の計上																																																	
	有 り	無 し																																																
全 層 打 換 え の 場 合	7	3																																																
舗装版のみの打換えの場合	9	4																																																
積算上の注意事項			(控え頁) 4／6																																															

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行		備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
現 行				改 正				備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
6. 単 価 表 (1) 大型ブレーカ又はコンクリート圧砕装置＋機械施工100㎡当り単価表				6. 単 価 表 (1) 大型ブレーカ又はコンクリート圧砕装置＋機械施工100㎡当り単価表				記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
<table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th><th colspan="6">施 工 歩 掛 コー ド</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>1×1/8×T' 表4.1, (注)1</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>#</td><td></td><td>3×1/8×T' 表4.1, (注)1</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>#</td><td></td><td>4×1/8×T' 表4.1, (注)1</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>クラッシャラン</td><td></td><td>㎡</td><td>A</td><td>100㎡×仕上り厚 ×(1+ロス率)=A, (注)2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>粒度調整砕石</td><td></td><td>#</td><td>B</td><td>100㎡×仕上り厚 ×(1+ロス率)=B, (注)2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>アスファルト混合物</td><td></td><td>t</td><td>C</td><td>100㎡×仕上り厚×設計密度(t/㎡) ×(1+ロス率)=C, (注)3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>大型ブレーカ運転</td><td>油圧ブレーカ バケット容量0.2㎡対応 ベースマシン含む・超低騒音 型・排出ガス対策型(第3次基準 準)</td><td>日</td><td></td><td>T_u/T 表5.1, (注)4 機械賃料</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(コンクリート圧砕 装置ベースマシン) バックホウ(クローラ 型)運 転</td><td>標準型・超低騒音型・排出ガス 対策型(第3次基準値) 山積0.45㎡ (平積0.35㎡)</td><td>#</td><td></td><td>T_u/T 表5.1, (注)4 機械賃料</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>バックホウ用アタッ チメント[コンクリー ト圧砕装置(引刺機)]</td><td>開口幅730mm 破砕力600kN</td><td>#</td><td></td><td>T_u/T 表5.1, (注)4 機械賃料</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>バックホウ (クローラ型)運転</td><td>標準型・超低騒音型・排出ガス 対策型(第3次基準値) 山積0.45㎡ (平積0.35㎡)</td><td>#</td><td></td><td>(T_u又はT_{u0})/T 表5.2 機械賃料</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>小型バックホウ (クローラ型)運転</td><td>標準型・超低騒音型・排出ガス 対策型(第3次基準値) 山積0.09～0.11㎡(平積0.07 ～0.09㎡)</td><td>#</td><td></td><td>T_D×層数/T 表5.3 機械賃料</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>タイヤローラ運転</td><td>普通型・低騒音型・排出ガス 対策型(第2次基準値) 運転 質量8～20 t</td><td>#</td><td></td><td>(T_D×層数+T_F×層数)/T 表5.3, 表5.4 機械賃料</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>振 動 ロ ー ラ (舗 装 用) 運 転</td><td>搭乗・コンバインド式・低騒 音型・ 排出ガス対策型(第2次基準 値) 運転質量3～4t</td><td>#</td><td></td><td>(T_D×層数+T_F×層数)/T 表5.3, 表5.4 機械賃料</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>ア ス フ ァ ル ト フィニッシャ運転</td><td>ホイール型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準 値) 舗装幅3～6.0m</td><td>#</td><td></td><td>T_F×層数/T 表5.4 機械賃料</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>諸 雑 費 計</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表5.5</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr></table> (注) 1. T' = [(T_u+T_{u0}) 又は T_{u0}] + T_D×層数 + T_F×層数} ×0.66 (h/100㎡) 0.66:一連作業のための重複度 T=運転日当り運転時間 (h/日) (表5.6) 2. 路盤材料のロス率は、+0.27とする。 3. ロス率は、「第IV編第3章①ー2 切削オーバーレイ工 5ー3 舗装工材料 (1) アスファルト混合物の				名 称	規 格	単位	数量			摘 要	施 工 歩 掛 コー ド						土木一般世話役		人		1×1/8×T' 表4.1, (注)1	○	○	○	○	○	○	特 殊 作 業 員		#		3×1/8×T' 表4.1, (注)1	○	○	○	○	○	○	普 通 作 業 員		#		4×1/8×T' 表4.1, (注)1	○	○	○	○	○	○	クラッシャラン		㎡	A	100㎡×仕上り厚 ×(1+ロス率)=A, (注)2						○	粒度調整砕石		#	B	100㎡×仕上り厚 ×(1+ロス率)=B, (注)2						○	アスファルト混合物		t	C	100㎡×仕上り厚×設計密度(t/㎡) ×(1+ロス率)=C, (注)3						○	大型ブレーカ運転	油圧ブレーカ バケット容量0.2㎡対応 ベースマシン含む・超低騒音 型・排出ガス対策型(第3次基準 準)	日		T _u /T 表5.1, (注)4 機械賃料		○					(コンクリート圧砕 装置ベースマシン) バックホウ(クローラ 型)運 転	標準型・超低騒音型・排出ガス 対策型(第3次基準値) 山積0.45㎡ (平積0.35㎡)	#		T _u /T 表5.1, (注)4 機械賃料		○					バックホウ用アタッ チメント[コンクリー ト圧砕装置(引刺機)]	開口幅730mm 破砕力600kN	#		T _u /T 表5.1, (注)4 機械賃料		○					バックホウ (クローラ型)運転	標準型・超低騒音型・排出ガス 対策型(第3次基準値) 山積0.45㎡ (平積0.35㎡)	#		(T _u 又はT _{u0})/T 表5.2 機械賃料		○	○				小型バックホウ (クローラ型)運転	標準型・超低騒音型・排出ガス 対策型(第3次基準値) 山積0.09～0.11㎡(平積0.07 ～0.09㎡)	#		T _D ×層数/T 表5.3 機械賃料				○	○		タイヤローラ運転	普通型・低騒音型・排出ガス 対策型(第2次基準値) 運転 質量8～20 t	#		(T _D ×層数+T _F ×層数)/T 表5.3, 表5.4 機械賃料				○	○	○	振 動 ロ ー ラ (舗 装 用) 運 転	搭乗・コンバインド式・低騒 音型・ 排出ガス対策型(第2次基準 値) 運転質量3～4t	#		(T _D ×層数+T _F ×層数)/T 表5.3, 表5.4 機械賃料				○	○	○	ア ス フ ァ ル ト フィニッシャ運転	ホイール型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準 値) 舗装幅3～6.0m	#		T _F ×層数/T 表5.4 機械賃料						○	諸 雑 費 計		式	1	表5.5		○	○	○	○	○	<table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th><th colspan="6">施 工 歩 掛 コー ド</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>1×1/8×T' 表4.1, (注)1</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>#</td><td></td><td>3×1/8×T' 表4.1, (注)1</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>#</td><td></td><td>4×1/8×T' 表4.1, (注)1</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>クラッシャラン</td><td></td><td>㎡</td><td>A</td><td>100㎡×仕上り厚 ×(1+ロス率)=A, (注)2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>粒度調整砕石</td><td></td><td>#</td><td>B</td><td>100㎡×仕上り厚 ×(1+ロス率)=B, (注)2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>アスファルト混合物</td><td></td><td>t</td><td>C</td><td>100㎡×仕上り厚×設計密度(t/㎡) ×(1+ロス率)=C, (注)3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>大型ブレーカ運転</td><td>油圧ブレーカ バケット容量0.2㎡対応 ベースマシン含む・超低騒音 型・排出ガス対策型(第3次基準 準)</td><td>日</td><td></td><td>T_u/T 表5.1, (注)4 機械賃料</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(コンクリート圧砕 装置ベースマシン) バックホウ(クローラ 型)運 転</td><td>標準型・超低騒音型・排出ガス 対策型(第3次基準値) バケット容量0.45㎡</td><td>#</td><td></td><td>T_u/T 表5.1, (注)4 機械賃料</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>バックホウ用アタッ チメント[コンクリー ト圧砕装置(引刺機)]</td><td>開口幅730mm 破砕力600kN</td><td>#</td><td></td><td>T_u/T 表5.1, (注)4 機械賃料</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>バックホウ (クローラ型)運転</td><td>標準型・超低騒音型・排出ガス 対策型(第3次基準値) バケット容量0.45㎡</td><td>#</td><td></td><td>(T_u又はT_{u0})/T 表5.2 機械賃料</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>小型バックホウ (クローラ型)運転</td><td>標準型・超低騒音型・排出ガス 対策型(第3次基準値) バケット容量0.09～0.11㎡</td><td>#</td><td></td><td>T_D×層数/T 表5.3 機械賃料</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>タイヤローラ運転</td><td>普通型・超低騒音型・排出ガス 対策型(2014年規則) 運転質量13～14 t</td><td>#</td><td></td><td>(T_D×層数+T_F×層数)/T 表5.3, 表5.4 機械賃料</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>振 動 ロ ー ラ (舗 装 用) 運 転</td><td>搭乗・コンバインド式・超低騒 音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 運転質量3～4t</td><td>#</td><td></td><td>(T_D×層数+T_F×層数)/T 表5.3, 表5.4 機械賃料</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>ア ス フ ァ ル ト フィニッシャ運転</td><td>ホイール型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 舗装幅3～6.0m</td><td>#</td><td></td><td>T_F×層数/T 表5.4 機械賃料</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>諸 雑 費 計</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表5.5</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr></table> (注) 1. T' = [(T_u+T_{u0}) 又は T_{u0}] + T_D×層数 + T_F×層数} ×0.66 (h/100㎡) 0.66:一連作業のための重複度 T=運転日当り運転時間 (h/日) (表5.6) 2. 路盤材料のロス率は、+0.27とする。 3. ロス率は、「第IV編第3章①ー2 切削オーバーレイ工 5ー3 舗装工材料 (1) アスファルト混合物のロス率」による。 4. 大型ブレーカ又はコンクリート圧砕装置は、図3ー1・表3. 1により必要な場合は別途計上する。				名 称	規 格	単位	数量	摘 要	施 工 歩 掛 コー ド						土木一般世話役		人		1×1/8×T' 表4.1, (注)1	○	○	○	○	○	○	特 殊 作 業 員		#		3×1/8×T' 表4.1, (注)1	○	○	○	○	○	○	普 通 作 業 員		#		4×1/8×T' 表4.1, (注)1	○	○	○	○	○	○	クラッシャラン		㎡	A	100㎡×仕上り厚 ×(1+ロス率)=A, (注)2						○	粒度調整砕石		#	B	100㎡×仕上り厚 ×(1+ロス率)=B, (注)2						○	アスファルト混合物		t	C	100㎡×仕上り厚×設計密度(t/㎡) ×(1+ロス率)=C, (注)3						○	大型ブレーカ運転	油圧ブレーカ バケット容量0.2㎡対応 ベースマシン含む・超低騒音 型・排出ガス対策型(第3次基準 準)	日		T _u /T 表5.1, (注)4 機械賃料		○					(コンクリート圧砕 装置ベースマシン) バックホウ(クローラ 型)運 転	標準型・超低騒音型・排出ガス 対策型(第3次基準値) バケット容量0.45㎡	#		T _u /T 表5.1, (注)4 機械賃料		○					バックホウ用アタッ チメント[コンクリー ト圧砕装置(引刺機)]	開口幅730mm 破砕力600kN	#		T _u /T 表5.1, (注)4 機械賃料		○					バックホウ (クローラ型)運転	標準型・超低騒音型・排出ガス 対策型(第3次基準値) バケット容量0.45㎡	#		(T _u 又はT _{u0})/T 表5.2 機械賃料		○	○				小型バックホウ (クローラ型)運転	標準型・超低騒音型・排出ガス 対策型(第3次基準値) バケット容量0.09～0.11㎡	#		T _D ×層数/T 表5.3 機械賃料				○	○		タイヤローラ運転	普通型・超低騒音型・排出ガス 対策型(2014年規則) 運転質量13～14 t	#		(T _D ×層数+T _F ×層数)/T 表5.3, 表5.4 機械賃料				○	○	○	振 動 ロ ー ラ (舗 装 用) 運 転	搭乗・コンバインド式・超低騒 音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 運転質量3～4t	#		(T _D ×層数+T _F ×層数)/T 表5.3, 表5.4 機械賃料				○	○	○	ア ス フ ァ ル ト フィニッシャ運転	ホイール型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 舗装幅3～6.0m	#		T _F ×層数/T 表5.4 機械賃料						○	諸 雑 費 計		式	1	表5.5		○	○	○
名 称	規 格	単位	数量	摘 要	施 工 歩 掛 コー ド																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
土木一般世話役		人		1×1/8×T' 表4.1, (注)1	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
特 殊 作 業 員		#		3×1/8×T' 表4.1, (注)1	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
普 通 作 業 員		#		4×1/8×T' 表4.1, (注)1	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
クラッシャラン		㎡	A	100㎡×仕上り厚 ×(1+ロス率)=A, (注)2						○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
粒度調整砕石		#	B	100㎡×仕上り厚 ×(1+ロス率)=B, (注)2						○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
アスファルト混合物		t	C	100㎡×仕上り厚×設計密度(t/㎡) ×(1+ロス率)=C, (注)3						○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
大型ブレーカ運転	油圧ブレーカ バケット容量0.2㎡対応 ベースマシン含む・超低騒音 型・排出ガス対策型(第3次基準 準)	日		T _u /T 表5.1, (注)4 機械賃料		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
(コンクリート圧砕 装置ベースマシン) バックホウ(クローラ 型)運 転	標準型・超低騒音型・排出ガス 対策型(第3次基準値) 山積0.45㎡ (平積0.35㎡)	#		T _u /T 表5.1, (注)4 機械賃料		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
バックホウ用アタッ チメント[コンクリー ト圧砕装置(引刺機)]	開口幅730mm 破砕力600kN	#		T _u /T 表5.1, (注)4 機械賃料		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
バックホウ (クローラ型)運転	標準型・超低騒音型・排出ガス 対策型(第3次基準値) 山積0.45㎡ (平積0.35㎡)	#		(T _u 又はT _{u0})/T 表5.2 機械賃料		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
小型バックホウ (クローラ型)運転	標準型・超低騒音型・排出ガス 対策型(第3次基準値) 山積0.09～0.11㎡(平積0.07 ～0.09㎡)	#		T _D ×層数/T 表5.3 機械賃料				○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
タイヤローラ運転	普通型・低騒音型・排出ガス 対策型(第2次基準値) 運転 質量8～20 t	#		(T _D ×層数+T _F ×層数)/T 表5.3, 表5.4 機械賃料				○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
振 動 ロ ー ラ (舗 装 用) 運 転	搭乗・コンバインド式・低騒 音型・ 排出ガス対策型(第2次基準 値) 運転質量3～4t	#		(T _D ×層数+T _F ×層数)/T 表5.3, 表5.4 機械賃料				○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
ア ス フ ァ ル ト フィニッシャ運転	ホイール型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準 値) 舗装幅3～6.0m	#		T _F ×層数/T 表5.4 機械賃料						○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
諸 雑 費 計		式	1	表5.5		○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
名 称	規 格	単位	数量	摘 要	施 工 歩 掛 コー ド																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
土木一般世話役		人		1×1/8×T' 表4.1, (注)1	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
特 殊 作 業 員		#		3×1/8×T' 表4.1, (注)1	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
普 通 作 業 員		#		4×1/8×T' 表4.1, (注)1	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
クラッシャラン		㎡	A	100㎡×仕上り厚 ×(1+ロス率)=A, (注)2						○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
粒度調整砕石		#	B	100㎡×仕上り厚 ×(1+ロス率)=B, (注)2						○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
アスファルト混合物		t	C	100㎡×仕上り厚×設計密度(t/㎡) ×(1+ロス率)=C, (注)3						○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
大型ブレーカ運転	油圧ブレーカ バケット容量0.2㎡対応 ベースマシン含む・超低騒音 型・排出ガス対策型(第3次基準 準)	日		T _u /T 表5.1, (注)4 機械賃料		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
(コンクリート圧砕 装置ベースマシン) バックホウ(クローラ 型)運 転	標準型・超低騒音型・排出ガス 対策型(第3次基準値) バケット容量0.45㎡	#		T _u /T 表5.1, (注)4 機械賃料		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
バックホウ用アタッ チメント[コンクリー ト圧砕装置(引刺機)]	開口幅730mm 破砕力600kN	#		T _u /T 表5.1, (注)4 機械賃料		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
バックホウ (クローラ型)運転	標準型・超低騒音型・排出ガス 対策型(第3次基準値) バケット容量0.45㎡	#		(T _u 又はT _{u0})/T 表5.2 機械賃料		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
小型バックホウ (クローラ型)運転	標準型・超低騒音型・排出ガス 対策型(第3次基準値) バケット容量0.09～0.11㎡	#		T _D ×層数/T 表5.3 機械賃料				○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
タイヤローラ運転	普通型・超低騒音型・排出ガス 対策型(2014年規則) 運転質量13～14 t	#		(T _D ×層数+T _F ×層数)/T 表5.3, 表5.4 機械賃料				○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
振 動 ロ ー ラ (舗 装 用) 運 転	搭乗・コンバインド式・超低騒 音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 運転質量3～4t	#		(T _D ×層数+T _F ×層数)/T 表5.3, 表5.4 機械賃料				○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
ア ス フ ァ ル ト フィニッシャ運転	ホイール型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 舗装幅3～6.0m	#		T _F ×層数/T 表5.4 機械賃料						○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
諸 雑 費 計		式	1	表5.5		○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
後頁から移動																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
IV-3-④-7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
積算上の注意事項								(控え頁) 5/6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

後頁から移動

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行		備 考																																																																	
現 行				改 正				備 考																																																																	
ロス率」による。 4. 大型ブレーカ又はコンクリート圧砕装置は、図 3－1・表 3. 1 により必要な場合は別途計上する。 (2) 機械運転単価表 <table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>指定事項</th></tr><tr><td>バックホウ (クローラ型)</td><td>標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m³(平積0.35m³)</td><td>機－28</td><td>運転労務数量→0.95(全層打換え) 0.65(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→36(全層打換え) 24(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.27(全層打換え) 1.24(舗装版のみ打換え)</td></tr><tr><td>大型ブレーカ</td><td>油圧ブレーカ バケット容量0.2m³対応 ベースマシン含む 超低騒音型・排出ガス対策 型(第3次基準)</td><td>機－28</td><td>運転労務数量→0.45(全層打換え) 0.48(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→15(全層打換え) 16(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.29(全層打換え) 1.27(舗装版のみ打換え)</td></tr><tr><td>(コンクリート圧砕装置ベースマシン) バックホウ(クローラ型)</td><td>標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m³(平積0.35m³)</td><td>機－28</td><td>運転労務数量→0.45(全層打換え) 0.48(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→17(全層打換え) 18(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.38(全層打換え) 1.36(舗装版のみ打換え)</td></tr><tr><td>小型バックホウ (クローラ型)</td><td>標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.09～0.11m³ (平積0.07～0.08m³)</td><td>機－18</td><td>運転労務数量→0.80(全層打換え) 0.58(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→9(全層打換え) 7(舗装版のみ打換え) 機械損料数量→1.38(全層打換え) 1.14(舗装版のみ打換え)</td></tr><tr><td>タイヤローラ</td><td>普通型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量8～20t</td><td>機－28</td><td>運転労務数量→1.00(全層打換え) 1.00(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→32(全層打換え) 34(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.34(全層打換え) 1.34(舗装版のみ打換え)</td></tr><tr><td>振動ローラ (舗装用)</td><td>搭乗・コンバインド式・低 騒音型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量3～4t</td><td>機－28</td><td>運転労務数量→1.00(全層打換え) 1.00(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→17(全層打換え) 18(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.34(全層打換え) 1.34(舗装版のみ打換え)</td></tr><tr><td>アスファルトフィニッシャ</td><td>ホイール型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 舗装幅2.3～6.0m</td><td>機－28</td><td>運転労務数量→0.55(全層打換え) 0.68(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→31(全層打換え) 38(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.10(全層打換え) 1.11(舗装版のみ打換え)</td></tr></table>				機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機－28	運転労務数量→0.95(全層打換え) 0.65(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→36(全層打換え) 24(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.27(全層打換え) 1.24(舗装版のみ打換え)	大型ブレーカ	油圧ブレーカ バケット容量0.2m ³ 対応 ベースマシン含む 超低騒音型・排出ガス対策 型(第3次基準)	機－28	運転労務数量→0.45(全層打換え) 0.48(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→15(全層打換え) 16(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.29(全層打換え) 1.27(舗装版のみ打換え)	(コンクリート圧砕装置ベースマシン) バックホウ(クローラ型)	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機－28	運転労務数量→0.45(全層打換え) 0.48(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→17(全層打換え) 18(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.38(全層打換え) 1.36(舗装版のみ打換え)	小型バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.09～0.11m ³ (平積0.07～0.08m ³)	機－18	運転労務数量→0.80(全層打換え) 0.58(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→9(全層打換え) 7(舗装版のみ打換え) 機械損料数量→1.38(全層打換え) 1.14(舗装版のみ打換え)	タイヤローラ	普通型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量8～20t	機－28	運転労務数量→1.00(全層打換え) 1.00(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→32(全層打換え) 34(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.34(全層打換え) 1.34(舗装版のみ打換え)	振動ローラ (舗装用)	搭乗・コンバインド式・低 騒音型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量3～4t	機－28	運転労務数量→1.00(全層打換え) 1.00(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→17(全層打換え) 18(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.34(全層打換え) 1.34(舗装版のみ打換え)	アスファルトフィニッシャ	ホイール型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 舗装幅2.3～6.0m	機－28	運転労務数量→0.55(全層打換え) 0.68(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→31(全層打換え) 38(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.10(全層打換え) 1.11(舗装版のみ打換え)	前頁へ移動 (2) 機械運転単価表 <table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>指定事項</th></tr><tr><td>バックホウ (クローラ型)</td><td>標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.45m³</td><td>機－28</td><td>運転労務数量→0.95(全層打換え) 0.65(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→36(全層打換え) 24(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.27(全層打換え) 1.24(舗装版のみ打換え)</td></tr><tr><td>大型ブレーカ</td><td>油圧ブレーカ バケット容量0.2m³対応 ベースマシン含む 超低騒音型・排出ガス対策 型(第3次基準)</td><td>機－28</td><td>運転労務数量→0.45(全層打換え) 0.48(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→15(全層打換え) 16(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.29(全層打換え) 1.27(舗装版のみ打換え)</td></tr><tr><td>(コンクリート圧砕装置ベースマシン) バックホウ(クローラ型)</td><td>標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.45m³</td><td>機－28</td><td>運転労務数量→0.45(全層打換え) 0.48(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→17(全層打換え) 18(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.38(全層打換え) 1.36(舗装版のみ打換え)</td></tr><tr><td>小型バックホウ (クローラ型)</td><td>標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.09～0.11m³</td><td>機－18</td><td>運転労務数量→0.80(全層打換え) 0.58(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→9(全層打換え) 7(舗装版のみ打換え) 機械損料数量→1.38(全層打換え) 1.14(舗装版のみ打換え)</td></tr><tr><td>タイヤローラ</td><td>普通型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13～14t</td><td>機－28</td><td>運転労務数量→1.00(全層打換え) 1.00(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→25(全層打換え) 26(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.34(全層打換え) 1.34(舗装版のみ打換え)</td></tr><tr><td>振動ローラ (舗装用)</td><td>搭乗・コンバインド式・ 超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 運転質量3～4t</td><td>機－28</td><td>運転労務数量→1.00(全層打換え) 1.00(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→17(全層打換え) 18(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.34(全層打換え) 1.34(舗装版のみ打換え)</td></tr><tr><td>アスファルトフィニッシャ</td><td>ホイール型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 舗装幅2.3～6.0m</td><td>機－28</td><td>運転労務数量→0.55(全層打換え) 0.68(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→31(全層打換え) 38(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.10(全層打換え) 1.11(舗装版のみ打換え)</td></tr></table>				機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.45m ³	機－28	運転労務数量→0.95(全層打換え) 0.65(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→36(全層打換え) 24(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.27(全層打換え) 1.24(舗装版のみ打換え)	大型ブレーカ	油圧ブレーカ バケット容量0.2m ³ 対応 ベースマシン含む 超低騒音型・排出ガス対策 型(第3次基準)	機－28	運転労務数量→0.45(全層打換え) 0.48(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→15(全層打換え) 16(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.29(全層打換え) 1.27(舗装版のみ打換え)	(コンクリート圧砕装置ベースマシン) バックホウ(クローラ型)	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.45m ³	機－28	運転労務数量→0.45(全層打換え) 0.48(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→17(全層打換え) 18(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.38(全層打換え) 1.36(舗装版のみ打換え)	小型バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.09～0.11m ³	機－18	運転労務数量→0.80(全層打換え) 0.58(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→9(全層打換え) 7(舗装版のみ打換え) 機械損料数量→1.38(全層打換え) 1.14(舗装版のみ打換え)	タイヤローラ	普通型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13～14t	機－28	運転労務数量→1.00(全層打換え) 1.00(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→25(全層打換え) 26(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.34(全層打換え) 1.34(舗装版のみ打換え)	振動ローラ (舗装用)	搭乗・コンバインド式・ 超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 運転質量3～4t	機－28	運転労務数量→1.00(全層打換え) 1.00(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→17(全層打換え) 18(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.34(全層打換え) 1.34(舗装版のみ打換え)	アスファルトフィニッシャ	ホイール型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 舗装幅2.3～6.0m	機－28	運転労務数量→0.55(全層打換え) 0.68(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→31(全層打換え) 38(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.10(全層打換え) 1.11(舗装版のみ打換え)	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																																						
バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機－28	運転労務数量→0.95(全層打換え) 0.65(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→36(全層打換え) 24(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.27(全層打換え) 1.24(舗装版のみ打換え)																																																																						
大型ブレーカ	油圧ブレーカ バケット容量0.2m ³ 対応 ベースマシン含む 超低騒音型・排出ガス対策 型(第3次基準)	機－28	運転労務数量→0.45(全層打換え) 0.48(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→15(全層打換え) 16(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.29(全層打換え) 1.27(舗装版のみ打換え)																																																																						
(コンクリート圧砕装置ベースマシン) バックホウ(クローラ型)	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機－28	運転労務数量→0.45(全層打換え) 0.48(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→17(全層打換え) 18(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.38(全層打換え) 1.36(舗装版のみ打換え)																																																																						
小型バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.09～0.11m ³ (平積0.07～0.08m ³)	機－18	運転労務数量→0.80(全層打換え) 0.58(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→9(全層打換え) 7(舗装版のみ打換え) 機械損料数量→1.38(全層打換え) 1.14(舗装版のみ打換え)																																																																						
タイヤローラ	普通型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量8～20t	機－28	運転労務数量→1.00(全層打換え) 1.00(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→32(全層打換え) 34(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.34(全層打換え) 1.34(舗装版のみ打換え)																																																																						
振動ローラ (舗装用)	搭乗・コンバインド式・低 騒音型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量3～4t	機－28	運転労務数量→1.00(全層打換え) 1.00(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→17(全層打換え) 18(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.34(全層打換え) 1.34(舗装版のみ打換え)																																																																						
アスファルトフィニッシャ	ホイール型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 舗装幅2.3～6.0m	機－28	運転労務数量→0.55(全層打換え) 0.68(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→31(全層打換え) 38(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.10(全層打換え) 1.11(舗装版のみ打換え)																																																																						
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																																						
バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.45m ³	機－28	運転労務数量→0.95(全層打換え) 0.65(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→36(全層打換え) 24(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.27(全層打換え) 1.24(舗装版のみ打換え)																																																																						
大型ブレーカ	油圧ブレーカ バケット容量0.2m ³ 対応 ベースマシン含む 超低騒音型・排出ガス対策 型(第3次基準)	機－28	運転労務数量→0.45(全層打換え) 0.48(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→15(全層打換え) 16(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.29(全層打換え) 1.27(舗装版のみ打換え)																																																																						
(コンクリート圧砕装置ベースマシン) バックホウ(クローラ型)	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.45m ³	機－28	運転労務数量→0.45(全層打換え) 0.48(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→17(全層打換え) 18(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.38(全層打換え) 1.36(舗装版のみ打換え)																																																																						
小型バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.09～0.11m ³	機－18	運転労務数量→0.80(全層打換え) 0.58(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→9(全層打換え) 7(舗装版のみ打換え) 機械損料数量→1.38(全層打換え) 1.14(舗装版のみ打換え)																																																																						
タイヤローラ	普通型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量13～14t	機－28	運転労務数量→1.00(全層打換え) 1.00(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→25(全層打換え) 26(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.34(全層打換え) 1.34(舗装版のみ打換え)																																																																						
振動ローラ (舗装用)	搭乗・コンバインド式・ 超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 運転質量3～4t	機－28	運転労務数量→1.00(全層打換え) 1.00(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→17(全層打換え) 18(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.34(全層打換え) 1.34(舗装版のみ打換え)																																																																						
アスファルトフィニッシャ	ホイール型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 舗装幅2.3～6.0m	機－28	運転労務数量→0.55(全層打換え) 0.68(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→31(全層打換え) 38(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.10(全層打換え) 1.11(舗装版のみ打換え)																																																																						
IV-3-④-8																																																																									
積算上の注意事項								(控え頁) 6／6																																																																	

工 種	路上路盤再生工
-----	---------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																												
現 行				改 正				備 考																																										
⑤ 路上路盤再生工 1. 適 用 範 囲 本資料は、スタビライザによる路上混合作業で、混合深さ40cm以下の路上路盤再生工に適用する。 なお、既設アスファルト舗装版を同時に混合する場合の既設アスファルト舗装版厚は、15cm以下とする。 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 機 材 搬 入 舗 装 版 切 断 添 加 剤 散 布 破 砕 混 合 乳 剤 又 は 水 散 布 不 陸 整 正 締 固 め 養 生 機 材 搬 出 舗 装 (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 養生工は必要に応じて計上する。 図2-1 施工フロー 3. 機 種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。 <table><tr><th colspan="5">表3.1 機種を選定</th></tr><tr><th>作 業 種 別</th><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>破 砕 混 合</td><td>スタビライザ</td><td>路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m</td><td>台</td><td>1</td></tr><tr><td>不 陸 整 正</td><td>モータグレーダ</td><td>十工用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m</td><td>〃</td><td>1</td></tr><tr><td rowspan="4">締 固 め</td><td rowspan="2">ロードローラ</td><td>マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10～12t</td><td>〃</td><td>1</td></tr><tr><td>普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t</td><td>〃</td><td>1</td></tr><tr><td rowspan="2">タイヤローラ (舗 装 用)</td><td>搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6～7.5t</td><td>〃</td><td>1</td></tr><tr><td>普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t</td><td>〃</td><td>1</td></tr></table> (注) タイヤローラ及び振動ローラ（舗装用）は、賃料とする。 4. 編 成 人 員 日当り編成人員は、次表を標準とする。 <table><tr><th colspan="2">表4.1 日当り編成人員 (人/日)</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役 普 通 作 業 員</td><td></td></tr><tr><td>1</td><td>4</td></tr></table> IV-3-⑤-1				表3.1 機種を選定					作 業 種 別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	破 砕 混 合	スタビライザ	路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m	台	1	不 陸 整 正	モータグレーダ	十工用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m	〃	1	締 固 め	ロードローラ	マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10～12t	〃	1	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t	〃	1	タイヤローラ (舗 装 用)	搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6～7.5t	〃	1	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t	〃	1	表4.1 日当り編成人員 (人/日)		土 木 一 般 世 話 役 普 通 作 業 員		1	4	⑤ 路上路盤再生工 1. 適 用 範 囲 本資料は、スタビライザによる路上混合作業で、施工面積250m2以上6,000m2以下、平均施工幅2m以上10m以下、混合深さ0.4m以下の路上路盤再生工に適用する。 なお、既設アスファルト舗装版を同時に混合する場合の既設アスファルト舗装版厚は、15cm以下とする。 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 機 材 搬 入 舗 装 版 切 断 添 加 剤 散 布 破 砕 混 合 乳 剤 又 は 水 散 布 不 陸 整 正 締 固 め 養 生 機 材 搬 出 舗 装 (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 破砕混合時の水散布の有無によらず適用出来る。 3. 養生工は必要に応じて計上する。 4. 事前の路面切削が必要な場合は、「第IV編第3章①路面切削工 ①-1 路面切削工」により別途計上する。 5. 事前の予備破砕、予備破砕後の搬運搬、処分が必要な場合は、別途計上する。 図2-1 施工フロー 次頁へ移動				記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う) 記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
表3.1 機種を選定																																																		
作 業 種 別	機 械 名	規 格	単 位	数 量																																														
破 砕 混 合	スタビライザ	路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m	台	1																																														
不 陸 整 正	モータグレーダ	十工用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m	〃	1																																														
締 固 め	ロードローラ	マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10～12t	〃	1																																														
		普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t	〃	1																																														
	タイヤローラ (舗 装 用)	搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6～7.5t	〃	1																																														
		普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t	〃	1																																														
表4.1 日当り編成人員 (人/日)																																																		
土 木 一 般 世 話 役 普 通 作 業 員																																																		
1	4																																																	
積算上の注意事項				(控え頁)				1／6																																										

工 種	路上路盤再生工
-----	---------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行																																										
現 行	改 正	備 考																																										
前頁から移動	3. 機 種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。 表3. 1 機種を選定 <table><tr><th>作 業 種 別</th><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>添 加 剤 散 布</td><td>バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)</td><td>後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.28m3 吊能力1.7t</td><td>台</td><td>1</td></tr><tr><td>破 砕 混 合</td><td>ス タ ビ ラ イ ザ (路 盤 再 生 用)</td><td>路盤再生用・排出ガス対策型(第3次基準値) 混合幅2.0m×混合深さ0.4m</td><td>〃</td><td>1</td></tr><tr><td>不 陸 整 正</td><td>モ ー タ グ レ ー ダ</td><td>土工用・排出ガス対策型(2014年規制) ブレード幅3.1m</td><td>〃</td><td>1</td></tr><tr><td rowspan="4">締 固 め</td><td rowspan="2">混 合 深 さ 20 c m 以 下</td><td>ロ ー ド ロ ー ラ マカダム・排出ガス対策型(2014年規制)・超低騒音型 運転質量10t</td><td>〃</td><td>1</td></tr><tr><td>タ イ ヤ ロ ー ラ 普通型・排出ガス対策型(2014年規制)・超低騒音型 運転質量13～14t</td><td>〃</td><td>1</td></tr><tr><td rowspan="2">混 合 深 さ 20 c m を 超 え 40 c m 以 下</td><td>振 動 ロ ー ラ (舗 装 用)</td><td>搭乗・タンデム式・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量6～7.5t</td><td>〃</td><td>1</td></tr><tr><td>タ イ ヤ ロ ー ラ 普通型・排出ガス対策型(2014年規制)・超低騒音型 運転質量13～14t</td><td>〃</td><td>1</td></tr></table> (注) バックホウ(クローラ型)は、賃料とする。 4. 編 成 人 員 口当り編成人員は、次表を標準とする。 表4. 1 日当り編成人員 (人／日) <table><tr><th>土 木 一 般 世 話 役</th><th>特 殊 作 業 員</th><th>普 通 作 業 員</th></tr><tr><td>1</td><td>1</td><td>3</td></tr></table>	作 業 種 別	機 械 名	規 格	単位	数量	添 加 剤 散 布	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.28m3 吊能力1.7t	台	1	破 砕 混 合	ス タ ビ ラ イ ザ (路 盤 再 生 用)	路盤再生用・排出ガス対策型(第3次基準値) 混合幅2.0m×混合深さ0.4m	〃	1	不 陸 整 正	モ ー タ グ レ ー ダ	土工用・排出ガス対策型(2014年規制) ブレード幅3.1m	〃	1	締 固 め	混 合 深 さ 20 c m 以 下	ロ ー ド ロ ー ラ マカダム・排出ガス対策型(2014年規制)・超低騒音型 運転質量10t	〃	1	タ イ ヤ ロ ー ラ 普通型・排出ガス対策型(2014年規制)・超低騒音型 運転質量13～14t	〃	1	混 合 深 さ 20 c m を 超 え 40 c m 以 下	振 動 ロ ー ラ (舗 装 用)	搭乗・タンデム式・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量6～7.5t	〃	1	タ イ ヤ ロ ー ラ 普通型・排出ガス対策型(2014年規制)・超低騒音型 運転質量13～14t	〃	1	土 木 一 般 世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	1	1	3	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
作 業 種 別	機 械 名	規 格	単位	数量																																								
添 加 剤 散 布	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.28m3 吊能力1.7t	台	1																																								
破 砕 混 合	ス タ ビ ラ イ ザ (路 盤 再 生 用)	路盤再生用・排出ガス対策型(第3次基準値) 混合幅2.0m×混合深さ0.4m	〃	1																																								
不 陸 整 正	モ ー タ グ レ ー ダ	土工用・排出ガス対策型(2014年規制) ブレード幅3.1m	〃	1																																								
締 固 め	混 合 深 さ 20 c m 以 下	ロ ー ド ロ ー ラ マカダム・排出ガス対策型(2014年規制)・超低騒音型 運転質量10t	〃	1																																								
		タ イ ヤ ロ ー ラ 普通型・排出ガス対策型(2014年規制)・超低騒音型 運転質量13～14t	〃	1																																								
	混 合 深 さ 20 c m を 超 え 40 c m 以 下	振 動 ロ ー ラ (舗 装 用)	搭乗・タンデム式・排出ガス対策型(2014年規制) 運転質量6～7.5t	〃	1																																							
		タ イ ヤ ロ ー ラ 普通型・排出ガス対策型(2014年規制)・超低騒音型 運転質量13～14t	〃	1																																								
土 木 一 般 世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員																																										
1	1	3																																										
積算上の注意事項		(控え頁) 2／6																																										

工 種	路上路盤再生工
-----	---------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行													
現 行				改 正				備 考											
5. 日 当 り 施 工 量 路上路盤再生工の日当り施工量は、次表を標準とする。 表5. 1 日 当 り 施 工 量 (m²／日) <table><tr><td>路 上 路 盤 再 生 工</td><td>790</td></tr></table> (注) 1. 上表は、混合深さ40cm以下の場合に適用する。 2. 混合回数は、 1 回を標準とする。 3. 添加剤は、セメント系を標準とする。 4. 混合用乳剤を必要により添加する場合は、材料費のみ計上する。 5. 上表は、添加剤散布、破砕混合、不陸整正、締固め、養生工を全て含んだ標準施工量である。 なお、日当り施工量は、養生工の有無にかかわらず同一とする。 6. 諸 雑 費 諸雑費は、小器材（スコップ、竹ぼうき等）及び養生工（プライムコート材料、エンジンスプレーヤ等）の費用であり、労務費、機械損料、機械賃料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 表6. 1 諸 雑 費 率 (%) <table><tr><td>混 合 深 さ 20 cm 以 下</td><td rowspan="2">16 (2)</td></tr><tr><td>混 合 深 さ 2 0 cm を 超 え 4 0 cm 以 下</td></tr></table> (注) 1. 養生工を必要としない場合は、()内の率を計上する。 2. 養生工は、締固め後、一時的に交通解放を行う場合や、長期間放置する場合に計上するものとし、締固め後、直ちに舗装を行う場合は計上しない。 なお、砂の散布が必要な場合は、材料費のみ計上する。 IV-3-⑤-2				路 上 路 盤 再 生 工	790	混 合 深 さ 20 cm 以 下	16 (2)	混 合 深 さ 2 0 cm を 超 え 4 0 cm 以 下	5. 日 当 り 施 工 量 路上路盤再生工の日当り施工量は、次表を標準とする。 表5. 1 日 当 り 施 工 量 (m2／日) <table><tr><td>路 上 路 盤 再 生 工</td><td>700(752)</td></tr></table> (注) 1. 上表は、混合深さ0.4m以下の場合に適用する。 2. 混合回数は、 1 回を標準とする。 3. 添加剤は、セメント系（セメントを含む）を標準とする。 4. 混合用乳剤を必要により添加する場合は、材料費のみ計上する。 5. 上表は、添加剤散布、破砕混合（乳剤散布を含む）、不陸整正、締固め、養生工を全て含んだ標準施工量である。 なお、養生工を必要としない場合は、（ ）内を使用する。 6. 諸 雑 費 諸雑費は、小器材（スコップ、竹ぼうき、レーキ、つるはし等）及び養生工（プライムコート材料、乳剤散布機械運転費用、砂等）の費用であり、労務費、機械損料、機械賃料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 表6. 1 諸 雑 費 率 (%) <table><tr><td>混 合 深 さ 0 . 2 m 以 下</td><td rowspan="2">27 (1)</td></tr><tr><td>混 合 深 さ 0 . 2 m を 超 え 0 . 4 m 以 下</td></tr></table> (注) 1. 養生工を必要としない場合は、()内の率を計上する。 2. 養生工は、締固め後、一時的に交通解放を行う場合や、長期間放置する場合に計上するものとし、締固め後、直ちに舗装を行う場合は計上しない。				路 上 路 盤 再 生 工	700(752)	混 合 深 さ 0 . 2 m 以 下	27 (1)	混 合 深 さ 0 . 2 m を 超 え 0 . 4 m 以 下	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
路 上 路 盤 再 生 工	790																		
混 合 深 さ 20 cm 以 下	16 (2)																		
混 合 深 さ 2 0 cm を 超 え 4 0 cm 以 下																			
路 上 路 盤 再 生 工	700(752)																		
混 合 深 さ 0 . 2 m 以 下	27 (1)																		
混 合 深 さ 0 . 2 m を 超 え 0 . 4 m 以 下																			
積算上の注意事項								(控え頁) 3／6											

工 種	路上路盤再生工
-----	---------

改 正 理 由		一部改正				改 正			
		現				改 正		備 考	
7. 単 価 表						7. 単 価 表			
(1) 路上路盤再生工100m ² 当り単価表		施工歩掛コード WB430710				(1) 路上路盤再生工100m ² 当り単価表		施工歩掛コード WB430710	
名 称		規 格		単位	数量1	数量2	摘 要		
土 木 一 般 世 話 役				人	1×100／D		表4.1, 表5.1		
普 通 作 業 員				人	4×100／D		"		
添 加 剤		セメント系		kg					
混 合 用 乳 剤				ℓ			必要により計上する		
砂				m ³			"		
スタビライザ運転		路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m		日	100／D		表5.1 機械損料		
モータグレーダ運転		土工用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m		人	100／D		表5.1 機械損料		
ロードローラ運転		マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10～12t		人	100／D	—	表5.1 機械損料		
タイヤローラ運転		普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t		人	100／D		表5.1 機械賃料		
振 動 ロ ー ラ (舗 装 用) 運 転		搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6～7.5t		人	—	100／D	表5.1 機械賃料		
諸 雑 費				式	1		表6.1		
計									
(注) 1. D：日当り施工量 (m ² /日)						(注) 1. D：日当り施工量 (m ² /日)			
2. 数量1：混合深さ20cm以下の場合						2. 数量1：混合深さ0.2m以下の場合			
数量2：混合深さ20cmを超え40cm以下の場合						数量2：混合深さ0.2mを超え0.4m以下の場合			
(2) 機械運転単価表						(2) 機械運転単価表			
機 械 名		規 格		適用単価表		指 定 事 項			
スタビライザ		路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m		機—18		運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 135 機械損料数量→ 1.22			
モータグレーダ		土工用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m		機—18		運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 46 機械損料数量→ 1.48			
ロードローラ		マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10～12t		機—18		運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 32 機械損料数量→ 1.61			
タイヤローラ		普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t		機—28		運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 31 機械賃料数量→ 1.62			
振 動 ロ ー ラ (舗 装 用)		搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6～7.5t		機—28		運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 44 機械賃料数量→ 1.75			
IV-3-⑤-3						次頁へ移動			
積算上の注意事項						(控え頁)		4／6	

工 種	路上路盤再生工
-----	---------

改 正 理 由	一部改正	改 正	
	現 行		
現 行	改 正		備 考
前頁から移動	(2) 機械運転単価表		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
	機 械 名	規 格	適用単価表
	パ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.28m3 吊能力1.7t	機-28 運転労務数量→ 1.00 燃 料 消 費 量→15 機械賃料数量→ 1.10
	ス タ ビ ラ イ ザ (路 盤 再 生 用)	路盤再生用・排出ガス対策型(第3次基準値) 混合幅2.0m×混合深さ0.4m	機-18 運転労務数量→ 1.00 燃 料 消 費 量→116 機械損料数量→ 1.01
	モ ー タ グ レ ー ダ	土工用・排出ガス対策型(2014年規制) ブレード幅3.1m	機-18 運転労務数量→ 1.00 燃 料 消 費 量→ 29 機械損料数量→ 1.04
	ロ ー ド ロ ー ラ	マカダム・排出ガス対策型(2014年規制)・超低騒音型 運転質量10t	機-18 運転労務数量→ 1.00 燃 料 消 費 量→ 15 機械損料数量→ 1.01
	タ イ ヤ ロ ー ラ	普通型・排出ガス対策型(2014年規制)・超低騒音型 運転質量13～14t	機-18 運転労務数量→ 1.00 燃 料 消 費 量→ 15 機械損料数量→ 1.23
積算上の注意事項	振 動 ロ ー ラ (舗 装 用)		機-18 運転労務数量→ 1.00 燃 料 消 費 量→ 23 機械損料数量→ 1.25
			(控え頁) 5/6

工 種	路上路盤再生工
-----	---------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																				
現 行				改 正				備 考																																																																																		
8. 施工単価入力基準表 (1) 路上路盤再生工 <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB430710</td><td>施工単位</td><td colspan="2">㎡</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="7">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td>J 5</td><td>J 6</td><td>J 7</td></tr><tr><td>混合深さ</td><td>添加剤使用数量 (実数入力)</td><td>混合用乳剤</td><td>混合用乳剤使用数量 (実数入力)</td><td>養生工</td><td>砂の散布</td><td>砂使用数量 (実数入力)</td></tr><tr><td>(表 8.1)</td><td>kg／100 ㎡</td><td>①無 ②有</td><td>ℓ ／100 ㎡</td><td>①無 ②有</td><td>①無 ②有</td><td>㎡／100 ㎡</td></tr></table> (注) 1. 添加剤単価 (Y-1240000) [円／kg] を単価登録すること。 2. J 3 条件で①を選択した場合は、J 4 条件は入力する必要はない。 3. J 3 条件で②を選択した場合は、混合用乳剤単価 (Y-1112000) [円／ℓ] を単価登録すること。 4. J 5 条件で①を選択した場合は、J 6、J 7 条件は入力する必要はない。 5. J 6 条件で①を選択した場合は、J 7 条件は入力する必要はない。 6. J 6 条件で②を選択した場合は、砂単価 (Y-0240000) [円／㎡] を単価登録すること。 表8. 1 混合深さ <table><tr><td>混 合 深 さ</td><td>入力番号</td></tr><tr><td>20 cm以下</td><td>①</td></tr><tr><td>20 cmを超え 40 cm以下</td><td>②</td></tr></table>				施工歩掛コード	WB430710		施工単位	㎡		施工区分	入 力 条 件							各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7	混合深さ	添加剤使用数量 (実数入力)	混合用乳剤	混合用乳剤使用数量 (実数入力)	養生工	砂の散布	砂使用数量 (実数入力)	(表 8.1)	kg／100 ㎡	①無 ②有	ℓ ／100 ㎡	①無 ②有	①無 ②有	㎡／100 ㎡	混 合 深 さ	入力番号	20 cm以下	①	20 cmを超え 40 cm以下	②	8. 施工単価入力基準表 (1) 路上路盤再生工 <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB430710</td><td>施工単位</td><td colspan="2">m2</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="7">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td colspan="2">J 5</td></tr><tr><td>混合深さ</td><td>添加剤使用数量 (実数入力)</td><td>混合用乳剤</td><td>混合用乳剤使用数量 (実数入力)</td><td colspan="2">養生工</td></tr><tr><td>(表 8.1)</td><td>kg／100m2</td><td>①無 ②有</td><td>ℓ ／100m2</td><td colspan="2">①無 ②有</td></tr></table> (注) 1. 添加剤単価 (Y-1240000) [円／kg] を単価登録すること。 2. J 3 条件で①を選択した場合は、J 4 条件は入力する必要はない。 3. J 3 条件で②を選択した場合は、混合用乳剤単価 (Y-1112000) [円／L] を単価登録すること。 表8. 1 混合深さ <table><tr><td>混 合 深 さ</td><td>入力番号</td></tr><tr><td>0.2m 以下</td><td>①</td></tr><tr><td>0.2m を超え 0.4m 以下</td><td>②</td></tr></table>				施工歩掛コード	WB430710		施工単位	m2		施工区分	入 力 条 件							各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5		混合深さ	添加剤使用数量 (実数入力)	混合用乳剤	混合用乳剤使用数量 (実数入力)	養生工		(表 8.1)	kg／100m2	①無 ②有	ℓ ／100m2	①無 ②有		混 合 深 さ	入力番号	0.2m 以下	①	0.2m を超え 0.4m 以下	②	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
施工歩掛コード	WB430710		施工単位	㎡																																																																																						
施工区分	入 力 条 件																																																																																									
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7																																																																																			
	混合深さ	添加剤使用数量 (実数入力)	混合用乳剤	混合用乳剤使用数量 (実数入力)	養生工	砂の散布	砂使用数量 (実数入力)																																																																																			
	(表 8.1)	kg／100 ㎡	①無 ②有	ℓ ／100 ㎡	①無 ②有	①無 ②有	㎡／100 ㎡																																																																																			
混 合 深 さ	入力番号																																																																																									
20 cm以下	①																																																																																									
20 cmを超え 40 cm以下	②																																																																																									
施工歩掛コード	WB430710		施工単位	m2																																																																																						
施工区分	入 力 条 件																																																																																									
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																					
	混合深さ	添加剤使用数量 (実数入力)	混合用乳剤	混合用乳剤使用数量 (実数入力)	養生工																																																																																					
	(表 8.1)	kg／100m2	①無 ②有	ℓ ／100m2	①無 ②有																																																																																					
混 合 深 さ	入力番号																																																																																									
0.2m 以下	①																																																																																									
0.2m を超え 0.4m 以下	②																																																																																									
								記載の変更																																																																																		
IV-3-⑤-4																																																																																										
積算上の注意事項								(控え頁)																																																																																		
								6／6																																																																																		

工 種	アスファルト注入工
-----	-----------

改 正 理 由		廃止		改 正		現 行																																																	
現 行				改 正				備 考																																															
⑥ アスファルト注入工 1. 適 用 範 囲 本資料は、コンクリート舗装版及びオーバーレイされたコンクリート舗装版（コンクリート版厚20～25cm）のアスファルト注入作業に適用する。 2. 機 種 の 選 定 2－1 削孔機械 機械・規格は、次表を標準とする。 <table><caption>表2.1 削孔機械</caption><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>ハ ン ド ハ ン マ</td><td>20kg級</td><td>台</td><td>2</td><td></td></tr><tr><td>空 気 圧 縮 機</td><td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型（第1次基準値） 吐出量7.5～7.8m³/min 吐出圧力0.7MPa</td><td>台</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>ト ラ ッ ク</td><td>〔普通型〕2t積</td><td>台</td><td>1</td><td>空気圧縮機及び機械運搬用</td></tr></table> 2－2 注入機械 機械・規格は、次表を標準とする。 <table><caption>表2.2 注入機械</caption><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>アスファルトケットル</td><td>定置式・タンク容量6,000 ℓ</td><td>台</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>ディストリビュータ</td><td>トラック架装式 タンク容量4,000～4,500 ℓ</td><td>台</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>ト ラ ッ ク</td><td>〔普通型〕2t積</td><td>台</td><td>1</td><td>注入時の散水、注入屑処理用</td></tr></table> 3. 施 工 量 3－1 削孔径及び削孔数 削孔径は、50mmを標準とし、作業面積1㎡当りの削孔数は、次表の範囲で現場条件等により決定する。 <table><caption>表3.1 削孔数（穴/㎡）</caption><tr><td>削 孔 数</td><td>0.1～0.35</td></tr></table> 3－2 注入材使用数量 （1）注入材の使用数量 注入材（ブローンアスファルト）の使用数量は、次式による。 使用数量（t/㎡）＝ディストリビュータ吐出量（t/㎡）×（1＋K）……式3.1 K：ロス率 <table><caption>表3.2 ロス率(K)</caption><tr><td>ロ ス 率</td><td>±0.01</td></tr></table> （2）注入量 作業面積1㎡当り注入量（ディストリビュータ吐出量）は、次表の範囲で現場条件等により決定する。 <table><caption>表3.3 注入量（t/㎡）</caption><tr><td>注 入 量</td><td>0.001～0.008</td></tr></table> IV-3-⑥-1				機 械 名	規 格	単位	数量	摘 要	ハ ン ド ハ ン マ	20kg級	台	2		空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型（第1次基準値） 吐出量7.5～7.8m ³ /min 吐出圧力0.7MPa	台	1		ト ラ ッ ク	〔普通型〕2t積	台	1	空気圧縮機及び機械運搬用	機 械 名	規 格	単位	数量	摘 要	アスファルトケットル	定置式・タンク容量6,000 ℓ	台	1		ディストリビュータ	トラック架装式 タンク容量4,000～4,500 ℓ	台	1		ト ラ ッ ク	〔普通型〕2t積	台	1	注入時の散水、注入屑処理用	削 孔 数	0.1～0.35	ロ ス 率	±0.01	注 入 量	0.001～0.008	削除				歩掛の廃止	
機 械 名	規 格	単位	数量	摘 要																																																			
ハ ン ド ハ ン マ	20kg級	台	2																																																				
空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型（第1次基準値） 吐出量7.5～7.8m ³ /min 吐出圧力0.7MPa	台	1																																																				
ト ラ ッ ク	〔普通型〕2t積	台	1	空気圧縮機及び機械運搬用																																																			
機 械 名	規 格	単位	数量	摘 要																																																			
アスファルトケットル	定置式・タンク容量6,000 ℓ	台	1																																																				
ディストリビュータ	トラック架装式 タンク容量4,000～4,500 ℓ	台	1																																																				
ト ラ ッ ク	〔普通型〕2t積	台	1	注入時の散水、注入屑処理用																																																			
削 孔 数	0.1～0.35																																																						
ロ ス 率	±0.01																																																						
注 入 量	0.001～0.008																																																						
積算上の注意事項								（控え頁） 1／5																																															

工 種	アスファルト注入工
-----	-----------

改 正 理 由		廃止		改 正 現 行																																																																																							
現 行				改 正		備 考																																																																																					
4. 施 工 歩 掛 4－1 削孔歩掛 1 日当りの削孔数は、350穴／日を標準とし、歩掛は次表を標準とする。 <table><caption>表4.1 削孔歩掛 (100穴当り)</caption><thead><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr></thead><tbody><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>0.3</td><td></td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>1.6</td><td></td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>0.2</td><td></td></tr><tr><td>ハ ン ド ハ ン マ 損 料</td><td>20kg級</td><td>日</td><td>0.6</td><td>0.3×2台</td></tr><tr><td>空 気 圧 縮 機 運 転</td><td>可搬式・エンジン駆動・スクリーン型・ 排出ガス対策型（第1次基準値） 吐出量0.5～1.8㎥／min 吐出圧力0.7MPa</td><td>人</td><td>0.3</td><td></td></tr><tr><td>ト ラ ッ ク 運 転</td><td>〔普通型〕 2t積</td><td>h</td><td>1.8</td><td></td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td></td><td>%</td><td>9</td><td></td></tr></tbody></table> (注) 1. トラックの運転労務は含まない。 2. 空気圧縮機は、賃料とする。 3. 諸雑費は、ピット及びロッド損耗費、布栓等の費用であり、労務費、機械賃料、機械損料及び 運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4－2 注入歩掛 1 日当り注入量（ディストリビュータ吐出量）は、5.5 t／日を標準とし、歩掛は次表を標準とする。 <table><caption>表4.2 注入歩掛 (1 t当り)</caption><thead><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr></thead><tbody><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>0.2</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>0.4</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>1.0</td></tr><tr><td>アスファルトケトル運転</td><td>定置式 タンク容量6,000 ℓ</td><td>日</td><td>0.2</td></tr><tr><td>ディストリビュータ運転</td><td>トラック架装式 タンク容量4,000～4,500 ℓ</td><td>人</td><td>0.2</td></tr><tr><td>ト ラ ッ ク 運 転</td><td>〔普通型〕 2t積</td><td>h</td><td>1.2</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td></td><td>%</td><td>2</td></tr></tbody></table> (注) 1. 各機械の運転労務は含まない。 2. 諸雑費は、木栓、セパタル等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に、上表 の率を乗じた金額を上限として計上する。 4－3 機械運転労務歩掛 (1) トラック及びディストリビュータ 運転労務は、「第1編第6章①建設機械運転労務」による。 (2) アスファルトケトル 運転労務は、次表を標準とする。 <table><caption>表4.3 アスファルトケトル運転労務 (人／日)</caption><thead><tr><th>職 種</th><th>労 務 歩 掛</th></tr></thead><tbody><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>0.7</td></tr></tbody></table> 4－4 加熱用燃料 加熱用燃料の消費量は、次表を標準とする。 <table><caption>表4.4 加熱用燃料消費量 (ℓ／日)</caption><thead><tr><th>使 用 機 械</th><th>燃 料 名</th><th>消 費 量</th></tr></thead><tbody><tr><td>デ ィ ス ト リ ビ ュ ー タ</td><td>重油 (A)</td><td>32</td></tr><tr><td>アスファルトケトル</td><td>重油 (A)</td><td>157</td></tr></tbody></table> IV-3-⑥-2				名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	0.3		特 殊 作 業 員		人	1.6		普 通 作 業 員		人	0.2		ハ ン ド ハ ン マ 損 料	20kg級	日	0.6	0.3×2台	空 気 圧 縮 機 運 転	可搬式・エンジン駆動・スクリーン型・ 排出ガス対策型（第1次基準値） 吐出量0.5～1.8㎥／min 吐出圧力0.7MPa	人	0.3		ト ラ ッ ク 運 転	〔普通型〕 2t積	h	1.8		諸 雑 費 率		%	9		名 称	規 格	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役		人	0.2	特 殊 作 業 員		人	0.4	普 通 作 業 員		人	1.0	アスファルトケトル運転	定置式 タンク容量6,000 ℓ	日	0.2	ディストリビュータ運転	トラック架装式 タンク容量4,000～4,500 ℓ	人	0.2	ト ラ ッ ク 運 転	〔普通型〕 2t積	h	1.2	諸 雑 費 率		%	2	職 種	労 務 歩 掛	特 殊 作 業 員	0.7	使 用 機 械	燃 料 名	消 費 量	デ ィ ス ト リ ビ ュ ー タ	重油 (A)	32	アスファルトケトル	重油 (A)	157	削除		歩掛の廃止
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																							
土 木 一 般 世 話 役		人	0.3																																																																																								
特 殊 作 業 員		人	1.6																																																																																								
普 通 作 業 員		人	0.2																																																																																								
ハ ン ド ハ ン マ 損 料	20kg級	日	0.6	0.3×2台																																																																																							
空 気 圧 縮 機 運 転	可搬式・エンジン駆動・スクリーン型・ 排出ガス対策型（第1次基準値） 吐出量0.5～1.8㎥／min 吐出圧力0.7MPa	人	0.3																																																																																								
ト ラ ッ ク 運 転	〔普通型〕 2t積	h	1.8																																																																																								
諸 雑 費 率		%	9																																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																								
土 木 一 般 世 話 役		人	0.2																																																																																								
特 殊 作 業 員		人	0.4																																																																																								
普 通 作 業 員		人	1.0																																																																																								
アスファルトケトル運転	定置式 タンク容量6,000 ℓ	日	0.2																																																																																								
ディストリビュータ運転	トラック架装式 タンク容量4,000～4,500 ℓ	人	0.2																																																																																								
ト ラ ッ ク 運 転	〔普通型〕 2t積	h	1.2																																																																																								
諸 雑 費 率		%	2																																																																																								
職 種	労 務 歩 掛																																																																																										
特 殊 作 業 員	0.7																																																																																										
使 用 機 械	燃 料 名	消 費 量																																																																																									
デ ィ ス ト リ ビ ュ ー タ	重油 (A)	32																																																																																									
アスファルトケトル	重油 (A)	157																																																																																									
積算上の注意事項				(控え頁) 2／5																																																																																							

工 種	アスファルト注工
-----	----------

改 正 理 由		廃止		改 正 現 行																																																																																																																																									
現 行				改 正		備 考																																																																																																																																							
5. 内訳書及び単価表 (1) 削孔100穴当り単価表 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="3">WB430810</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表4.1</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>空 気 圧 縮 機 運 転</td><td>可搬式・エンジン駆動・スクリーン型・ 排出ガス対策型（第1次基準値） 吐出量7.5～7.8m³/min 吐出圧力0.7MPa</td><td>日</td><td></td><td>表4.1 機械賃料</td></tr><tr><td>ハ ン ド ハ ン マ</td><td>20kg級</td><td>〃</td><td></td><td>表4.1 機械損料</td></tr><tr><td>ト ラ ッ ク 運 転</td><td>〔普通型〕 2t積</td><td>h</td><td></td><td>表4.1 機械損料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表4.1</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2) アスファルト注入 1 t 当り単価表 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="3">WB430820</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表4.2</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>ブローンアスファルト</td><td>JIS K 2207 針入度20～30</td><td>t</td><td></td><td>式3.1</td></tr><tr><td>アスファルトケットル運転</td><td>定置式 タンク容量6,000 ℓ</td><td>日</td><td></td><td>表4.2 単価表(3) 機械損料</td></tr><tr><td>ディストリビュータ運転</td><td>トラック架装式 タンク容量4,000～4,500 ℓ</td><td>〃</td><td></td><td>表4.2 単価表(4) 機械損料</td></tr><tr><td>ト ラ ッ ク 運 転</td><td>〔普通型〕 2t積</td><td>h</td><td></td><td>表4.2 機械損料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表4.2</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (3) アスファルトケットル（6,000ℓ）運転 1 日当り単価表 <table><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表4.3</td></tr><tr><td>加 熱 用 燃 料 費</td><td></td><td>ℓ</td><td></td><td>表4.4</td></tr><tr><td>アスファルトケットル</td><td>定置式 タンク容量6,000 ℓ</td><td>日</td><td>1</td><td>機械損料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> IV-3-⑥-3				施工歩掛コード		WB430810			名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表4.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	空 気 圧 縮 機 運 転	可搬式・エンジン駆動・スクリーン型・ 排出ガス対策型（第1次基準値） 吐出量7.5～7.8m ³ /min 吐出圧力0.7MPa	日		表4.1 機械賃料	ハ ン ド ハ ン マ	20kg級	〃		表4.1 機械損料	ト ラ ッ ク 運 転	〔普通型〕 2t積	h		表4.1 機械損料	諸 雑 費		式	1	表4.1	計					施工歩掛コード		WB430820			名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表4.2	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ブローンアスファルト	JIS K 2207 針入度20～30	t		式3.1	アスファルトケットル運転	定置式 タンク容量6,000 ℓ	日		表4.2 単価表(3) 機械損料	ディストリビュータ運転	トラック架装式 タンク容量4,000～4,500 ℓ	〃		表4.2 単価表(4) 機械損料	ト ラ ッ ク 運 転	〔普通型〕 2t積	h		表4.2 機械損料	諸 雑 費		式	1	表4.2	計					名 称	規 格	単位	数量	摘 要	特 殊 作 業 員		人		表4.3	加 熱 用 燃 料 費		ℓ		表4.4	アスファルトケットル	定置式 タンク容量6,000 ℓ	日	1	機械損料	諸 雑 費		式	1		計					削除		歩掛の廃止
施工歩掛コード		WB430810																																																																																																																																											
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																									
土 木 一 般 世 話 役		人		表4.1																																																																																																																																									
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																									
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																									
空 気 圧 縮 機 運 転	可搬式・エンジン駆動・スクリーン型・ 排出ガス対策型（第1次基準値） 吐出量7.5～7.8m ³ /min 吐出圧力0.7MPa	日		表4.1 機械賃料																																																																																																																																									
ハ ン ド ハ ン マ	20kg級	〃		表4.1 機械損料																																																																																																																																									
ト ラ ッ ク 運 転	〔普通型〕 2t積	h		表4.1 機械損料																																																																																																																																									
諸 雑 費		式	1	表4.1																																																																																																																																									
計																																																																																																																																													
施工歩掛コード		WB430820																																																																																																																																											
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																									
土 木 一 般 世 話 役		人		表4.2																																																																																																																																									
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																									
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																									
ブローンアスファルト	JIS K 2207 針入度20～30	t		式3.1																																																																																																																																									
アスファルトケットル運転	定置式 タンク容量6,000 ℓ	日		表4.2 単価表(3) 機械損料																																																																																																																																									
ディストリビュータ運転	トラック架装式 タンク容量4,000～4,500 ℓ	〃		表4.2 単価表(4) 機械損料																																																																																																																																									
ト ラ ッ ク 運 転	〔普通型〕 2t積	h		表4.2 機械損料																																																																																																																																									
諸 雑 費		式	1	表4.2																																																																																																																																									
計																																																																																																																																													
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																									
特 殊 作 業 員		人		表4.3																																																																																																																																									
加 熱 用 燃 料 費		ℓ		表4.4																																																																																																																																									
アスファルトケットル	定置式 タンク容量6,000 ℓ	日	1	機械損料																																																																																																																																									
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																										
計																																																																																																																																													
積算上の注意事項		(控え頁) 3／5																																																																																																																																											

工 種	アスファルト注入工
-----	-----------

改 正 理 由		廃止		改 正 現 行																																																														
現 行				改 正		備 考																																																												
(4) ディストリビュータ運転1日当り単価表 <table><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td colspan="2">摘 要</td></tr><tr><td>運転手 (一般)</td><td></td><td>人</td><td>1</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>加熱用燃料費</td><td></td><td>ℓ</td><td></td><td colspan="2">表4.4</td></tr><tr><td>運 転 用 燃 料 費</td><td></td><td>#</td><td>運転1h当り燃料消費量 ×T</td><td colspan="2">「第1編第6章②原動機燃料消費量」による</td></tr><tr><td>ディストリタ</td><td>トラック架装式 タンク容量4,000～ 4,500ℓ</td><td>日</td><td>1</td><td colspan="2">機械損料</td></tr><tr><td>ト ラ ッ ク</td><td>[普通型] 6～6.5t 積</td><td>h</td><td>4.3</td><td colspan="2">機械損料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr></table> (注) ディストリビュータの運転日当り標準運転時間 (T) は、4.3 h / 日とする。 (5) 機械運転単価表 <table><tr><td>機 械 名</td><td>規 格</td><td>適用単価表</td><td>指 定 事 項</td></tr><tr><td>空 気 圧 縮 機</td><td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型 (第1次基準値) 吐出量7.5～7.8m³/min 吐出圧力0.7MPa</td><td>機-16</td><td>燃 料 消 費 量→ 50 機械賃料数量→ 1.7</td></tr><tr><td>ト ラ ッ ク</td><td>[普通型] 2t積</td><td>機-6</td><td></td></tr></table> IV-3-⑥-4				名 称	規 格	単位	数量	摘 要		運転手 (一般)		人	1			加熱用燃料費		ℓ		表4.4		運 転 用 燃 料 費		#	運転1h当り燃料消費量 ×T	「第1編第6章②原動機燃料消費量」による		ディストリタ	トラック架装式 タンク容量4,000～ 4,500ℓ	日	1	機械損料		ト ラ ッ ク	[普通型] 6～6.5t 積	h	4.3	機械損料		諸 雑 費		式	1			計						機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型 (第1次基準値) 吐出量7.5～7.8m ³ /min 吐出圧力0.7MPa	機-16	燃 料 消 費 量→ 50 機械賃料数量→ 1.7	ト ラ ッ ク	[普通型] 2t積	機-6		削除		歩掛の廃止
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																														
運転手 (一般)		人	1																																																															
加熱用燃料費		ℓ		表4.4																																																														
運 転 用 燃 料 費		#	運転1h当り燃料消費量 ×T	「第1編第6章②原動機燃料消費量」による																																																														
ディストリタ	トラック架装式 タンク容量4,000～ 4,500ℓ	日	1	機械損料																																																														
ト ラ ッ ク	[普通型] 6～6.5t 積	h	4.3	機械損料																																																														
諸 雑 費		式	1																																																															
計																																																																		
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																															
空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型 (第1次基準値) 吐出量7.5～7.8m ³ /min 吐出圧力0.7MPa	機-16	燃 料 消 費 量→ 50 機械賃料数量→ 1.7																																																															
ト ラ ッ ク	[普通型] 2t積	機-6																																																																
積算上の注意事項		(控え頁) 4 / 5																																																																

工 種	アスファルト注工
-----	----------

改 正 理 由	廃止	改 正 現 行																																											
現 行		改 正	備 考																																										
6. 施工単価入力基準表 (1) 削孔 (アスファルト注工) <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB430810</td><td>施工単位</td><td>穴</td></tr><tr><td>施 工 区 分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td colspan="3">J 1</td></tr><tr><td colspan="3">供用日当り運転時間</td></tr><tr><td colspan="3">①標準</td></tr><tr><td colspan="3">②標準以外 (実数入力)</td></tr></table> (注) J 1 条件の供用日当り運転時間は、トラックの供用日当り運転時間を入力する。 (2) アスファルト注工 <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB430820</td><td>施工単位</td><td>t</td></tr><tr><td>施 工 区 分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td colspan="3">J 1</td></tr><tr><td colspan="3">供用日当り運転時間</td></tr><tr><td colspan="3">①標準</td></tr><tr><td colspan="3">②標準以外 (実数入力)</td></tr></table> (注) 1. 材料を含む。 2. J 1 条件は、トラックの供用日当り運転時間及び運転日当り時間を入力する。 IV-3-⑥-5		施工歩掛コード	WB430810	施工単位	穴	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1			供用日当り運転時間			①標準			②標準以外 (実数入力)			施工歩掛コード	WB430820	施工単位	t	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1			供用日当り運転時間			①標準			②標準以外 (実数入力)			削除	歩掛の廃止
施工歩掛コード	WB430810	施工単位	穴																																										
施 工 区 分	入 力 条 件																																												
各 種	J 1																																												
	供用日当り運転時間																																												
	①標準																																												
	②標準以外 (実数入力)																																												
施工歩掛コード	WB430820	施工単位	t																																										
施 工 区 分	入 力 条 件																																												
各 種	J 1																																												
	供用日当り運転時間																																												
	①標準																																												
	②標準以外 (実数入力)																																												
積算上の注意事項			(控え頁) 5／5																																										

工 種	舗装版クラック補修工
-----	------------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行	
現 行		改 正	備 考
⑦ 舗装版クラック補修工 1. 適 用 範 囲 本資料は、コンクリート舗装版のクラックの補修及びコンクリート舗装版・アスファルト舗装版のクラック防止シート張に適用する。 1－1 適用出来る範囲 1－1－1 クラック防止シート (1) 幅 30cm 以上 100cm 以下のクラック防止シートを使用する場合 1－2 適用出来ない範囲 1－2－1 クラック補修 (1) 注入材メーカー指定の溶解釜・注入機を使用する場合 1－2－2 クラック防止シート (1) シート設置に鋸を使用する場合 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 【クラック補修】 【クラック防止シート張】 (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. クラック防止シート張は転圧の有無にかかわらず適用出来る。 図2－1 施工フロー IV-3-⑦-1		⑥ 舗装版クラック補修工 1. 適 用 範 囲 本資料は、コンクリート舗装版の加熱注入式によるクラックの補修及びコンクリート舗装版・アスファルト舗装版のクラック防止シート張に適用する。 現行どおり	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
積算上の注意事項			(控え頁) 1／1

工 種	道路付属構造物塗替工
-----	------------

改 正 理 由		一部改正		改 正																																																																																													
				現 行																																																																																													
現 行				改 正				備 考																																																																																									
2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 機 材 搬 入 素地調整作業 塗 装 作 業 機 材 搬 出 (注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重線部分のみである。 3. 施工パッケージ 3-1 素地調整 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 1 素地調整 積算条件区分一覧 (積算単位：m2) <table><tr><th>構造物区分</th><th>機械使用区分</th></tr><tr><td>全高 4m 未満のポール類</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="2">全高 4m 以上 10m 未満のポール類</td><td>持込</td></tr><tr><td>貸与</td></tr><tr><td rowspan="2">全高 10m 以上 12m 以下のポール類</td><td>持込</td></tr><tr><td>貸与</td></tr><tr><td>防護柵類</td><td>—</td></tr><tr><td>落石防止柵類</td><td>—</td></tr></table> (注) 1. 上表は、塗装を行う際の素地調整（ケレン）、電力に関する経費、ディスクサンダ、ワイヤブラシ、ハンマ、タガネ等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 素地調整作業の種別は、3 種ケレンを標準とする。 3. ポール類の高さは、路面からの高さとする。 4. 塗替作業にともない対象構造物の撤去・設置が必要な場合は、別途考慮する。 5. 全高 2 m 以上 4 m 未満のポール類において足場が必要な場合は、別途考慮する。 (2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表3. 2 素地調整 代表機材規格一覧 <table><tr><th>項目</th><th>代表機材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="5">機 械</td><td>高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m</td><td>・全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合 ・賃料</td></tr><tr><td>高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 11.0～12m</td><td>・全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 ・賃料</td></tr><tr><td>高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 作業床高 11.0～12.0m 積載荷重 200kg 定員 2 名</td><td>・貸与の場合</td></tr><tr><td>K 2 —</td><td></td></tr><tr><td>K 3 —</td><td></td></tr><tr><td rowspan="5">労 務</td><td>R 1 塗装工</td><td></td></tr><tr><td>運転手（一般）</td><td>全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合</td></tr><tr><td>R 2 運転手（特殊）</td><td>全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 及び貸与の場合</td></tr><tr><td>R 3 —</td><td></td></tr><tr><td>R 4 —</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材 料</td><td>Z 1 軽油 バトロール給油</td><td>全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合</td></tr><tr><td>Z 2 —</td><td></td></tr><tr><td>Z 3 —</td><td></td></tr><tr><td>Z 4 —</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S —</td><td></td></tr></table> IV-3-⑧-2				構造物区分	機械使用区分	全高 4m 未満のポール類	—	全高 4m 以上 10m 未満のポール類	持込	貸与	全高 10m 以上 12m 以下のポール類	持込	貸与	防護柵類	—	落石防止柵類	—	項目	代表機材規格	備考	機 械	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m	・全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合 ・賃料	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 11.0～12m	・全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 ・賃料	高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 作業床高 11.0～12.0m 積載荷重 200kg 定員 2 名	・貸与の場合	K 2 —		K 3 —		労 務	R 1 塗装工		運転手（一般）	全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合	R 2 運転手（特殊）	全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 及び貸与の場合	R 3 —		R 4 —		材 料	Z 1 軽油 バトロール給油	全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合	Z 2 —		Z 3 —		Z 4 —		市場単価	S —		現行どおり (2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表3. 2 素地調整 代表機材規格一覧 <table><tr><th>項目</th><th>代表機材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="5">機 械</td><td>高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m</td><td>・全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合 ・賃料</td></tr><tr><td>高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 11.0～12m</td><td>・全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 ・賃料</td></tr><tr><td>高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 最大地上高 11.0～12.0m 最大積載荷重 200kg 定員 2 名</td><td>・貸与の場合</td></tr><tr><td>K 2 —</td><td></td></tr><tr><td>K 3 —</td><td></td></tr><tr><td rowspan="5">労 務</td><td>R 1 塗装工</td><td></td></tr><tr><td>運転手（一般）</td><td>全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合</td></tr><tr><td>R 2 運転手（特殊）</td><td>全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 及び貸与の場合</td></tr><tr><td>R 3 —</td><td></td></tr><tr><td>R 4 —</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材 料</td><td>Z 1 軽油 バトロール給油</td><td>全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合</td></tr><tr><td>Z 2 —</td><td></td></tr><tr><td>Z 3 —</td><td></td></tr><tr><td>Z 4 —</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S —</td><td></td></tr></table>				項目	代表機材規格	備考	機 械	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m	・全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合 ・賃料	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 11.0～12m	・全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 ・賃料	高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 最大地上高 11.0～12.0m 最大積載荷重 200kg 定員 2 名	・貸与の場合	K 2 —		K 3 —		労 務	R 1 塗装工		運転手（一般）	全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合	R 2 運転手（特殊）	全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 及び貸与の場合	R 3 —		R 4 —		材 料	Z 1 軽油 バトロール給油	全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合	Z 2 —		Z 3 —		Z 4 —		市場単価	S —		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
構造物区分	機械使用区分																																																																																																
全高 4m 未満のポール類	—																																																																																																
全高 4m 以上 10m 未満のポール類	持込																																																																																																
	貸与																																																																																																
全高 10m 以上 12m 以下のポール類	持込																																																																																																
	貸与																																																																																																
防護柵類	—																																																																																																
落石防止柵類	—																																																																																																
項目	代表機材規格	備考																																																																																															
機 械	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m	・全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合 ・賃料																																																																																															
	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 11.0～12m	・全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 ・賃料																																																																																															
	高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 作業床高 11.0～12.0m 積載荷重 200kg 定員 2 名	・貸与の場合																																																																																															
	K 2 —																																																																																																
	K 3 —																																																																																																
労 務	R 1 塗装工																																																																																																
	運転手（一般）	全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合																																																																																															
	R 2 運転手（特殊）	全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 及び貸与の場合																																																																																															
	R 3 —																																																																																																
	R 4 —																																																																																																
材 料	Z 1 軽油 バトロール給油	全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合																																																																																															
	Z 2 —																																																																																																
	Z 3 —																																																																																																
	Z 4 —																																																																																																
市場単価	S —																																																																																																
項目	代表機材規格	備考																																																																																															
機 械	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m	・全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合 ・賃料																																																																																															
	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 11.0～12m	・全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 ・賃料																																																																																															
	高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 最大地上高 11.0～12.0m 最大積載荷重 200kg 定員 2 名	・貸与の場合																																																																																															
	K 2 —																																																																																																
	K 3 —																																																																																																
労 務	R 1 塗装工																																																																																																
	運転手（一般）	全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合																																																																																															
	R 2 運転手（特殊）	全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 及び貸与の場合																																																																																															
	R 3 —																																																																																																
	R 4 —																																																																																																
材 料	Z 1 軽油 バトロール給油	全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合																																																																																															
	Z 2 —																																																																																																
	Z 3 —																																																																																																
	Z 4 —																																																																																																
市場単価	S —																																																																																																
積算上の注意事項				(控え頁)																																																																																													
				1／2																																																																																													

工 種	道路付属構造物塗替工
-----	------------

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行																																																																																
現 行				改 正		備 考																																																																														
(3) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3.8 付属構造物塗替 代表機労材規格一覧 <table><tr><th>項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="5">機械</td><td>K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m</td><td>・全高 4m 以上 10m 未満のボール類 の場合 ・賃料</td></tr><tr><td>高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 11.0～12m</td><td>・全高 10m 以上 12m 以下のボール類 の場合 ・賃料</td></tr><tr><td>高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 作業床高 11.0～12.0m 積載荷重 200kg 定員 2 名</td><td>・貸与の場合</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="5">労務</td><td>R 1 塗装工</td><td></td></tr><tr><td>R 2 運転手（一般）</td><td>全高 4m 以上 10m 未満のボール類(持込) の場合</td></tr><tr><td>運転手（特殊）</td><td>全高 10m 以上 12m 以下のボール類(持込) の場合及び貸与の場合</td></tr><tr><td>R 3</td><td>—</td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="5">材料</td><td>Z 1 鉛・クロムフリーさび止めペイント フェノール樹脂 M10 塗料</td><td>下塗の場合</td></tr><tr><td>長油性フタル酸樹脂塗料(JIS K5516 2 種)淡彩色 塩化ゴム系塗料淡彩色</td><td>中塗、上塗の場合</td></tr><tr><td>Z 2 軽油 バトロール給油</td><td>全高 4m 以上 12m 以下のボール類の場合</td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr></table> IV-3-⑧-5				項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m	・全高 4m 以上 10m 未満のボール類 の場合 ・賃料	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 11.0～12m	・全高 10m 以上 12m 以下のボール類 の場合 ・賃料	高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 作業床高 11.0～12.0m 積載荷重 200kg 定員 2 名	・貸与の場合	K 2	—	K 3	—	労務	R 1 塗装工		R 2 運転手（一般）	全高 4m 以上 10m 未満のボール類(持込) の場合	運転手（特殊）	全高 10m 以上 12m 以下のボール類(持込) の場合及び貸与の場合	R 3	—	R 4	—	材料	Z 1 鉛・クロムフリーさび止めペイント フェノール樹脂 M10 塗料	下塗の場合	長油性フタル酸樹脂塗料(JIS K5516 2 種)淡彩色 塩化ゴム系塗料淡彩色	中塗、上塗の場合	Z 2 軽油 バトロール給油	全高 4m 以上 12m 以下のボール類の場合	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	(3) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3.8 付属構造物塗替 代表機労材規格一覧 <table><tr><th>項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="5">機械</td><td>K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m</td><td>・全高 4m 以上 10m 未満のボール類 の場合 ・賃料</td></tr><tr><td>高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 11.0～12m</td><td>・全高 10m 以上 12m 以下のボール類 の場合 ・賃料</td></tr><tr><td>高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 最大地上高 11.0～12.0m 最大積載荷重 200kg 定員 2 名</td><td>・貸与の場合</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="5">労務</td><td>R 1 塗装工</td><td></td></tr><tr><td>R 2 運転手（一般）</td><td>全高 4m 以上 10m 未満のボール類(持込) の場合</td></tr><tr><td>運転手（特殊）</td><td>全高 10m 以上 12m 以下のボール類(持込) の場合及び貸与の場合</td></tr><tr><td>R 3</td><td>—</td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="5">材料</td><td>Z 1 鉛・クロムフリーさび止めペイント フェノール樹脂 M10 塗料</td><td>下塗の場合</td></tr><tr><td>長油性フタル酸樹脂塗料(JIS K5516 2 種)淡彩色 塩化ゴム系塗料淡彩色</td><td>中塗、上塗の場合</td></tr><tr><td>Z 2 軽油 バトロール給油</td><td>全高 4m 以上 12m 以下のボール類の場合</td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr></table>		項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m	・全高 4m 以上 10m 未満のボール類 の場合 ・賃料	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 11.0～12m	・全高 10m 以上 12m 以下のボール類 の場合 ・賃料	高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 最大地上高 11.0～12.0m 最大積載荷重 200kg 定員 2 名	・貸与の場合	K 2	—	K 3	—	労務	R 1 塗装工		R 2 運転手（一般）	全高 4m 以上 10m 未満のボール類(持込) の場合	運転手（特殊）	全高 10m 以上 12m 以下のボール類(持込) の場合及び貸与の場合	R 3	—	R 4	—	材料	Z 1 鉛・クロムフリーさび止めペイント フェノール樹脂 M10 塗料	下塗の場合	長油性フタル酸樹脂塗料(JIS K5516 2 種)淡彩色 塩化ゴム系塗料淡彩色	中塗、上塗の場合	Z 2 軽油 バトロール給油	全高 4m 以上 12m 以下のボール類の場合	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
項目	代表機労材規格	備考																																																																																		
機械	K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m	・全高 4m 以上 10m 未満のボール類 の場合 ・賃料																																																																																		
	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 11.0～12m	・全高 10m 以上 12m 以下のボール類 の場合 ・賃料																																																																																		
	高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 作業床高 11.0～12.0m 積載荷重 200kg 定員 2 名	・貸与の場合																																																																																		
	K 2	—																																																																																		
	K 3	—																																																																																		
労務	R 1 塗装工																																																																																			
	R 2 運転手（一般）	全高 4m 以上 10m 未満のボール類(持込) の場合																																																																																		
	運転手（特殊）	全高 10m 以上 12m 以下のボール類(持込) の場合及び貸与の場合																																																																																		
	R 3	—																																																																																		
	R 4	—																																																																																		
材料	Z 1 鉛・クロムフリーさび止めペイント フェノール樹脂 M10 塗料	下塗の場合																																																																																		
	長油性フタル酸樹脂塗料(JIS K5516 2 種)淡彩色 塩化ゴム系塗料淡彩色	中塗、上塗の場合																																																																																		
	Z 2 軽油 バトロール給油	全高 4m 以上 12m 以下のボール類の場合																																																																																		
	Z 3	—																																																																																		
	Z 4	—																																																																																		
市場単価	S	—																																																																																		
項目	代表機労材規格	備考																																																																																		
機械	K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m	・全高 4m 以上 10m 未満のボール類 の場合 ・賃料																																																																																		
	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 11.0～12m	・全高 10m 以上 12m 以下のボール類 の場合 ・賃料																																																																																		
	高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 最大地上高 11.0～12.0m 最大積載荷重 200kg 定員 2 名	・貸与の場合																																																																																		
	K 2	—																																																																																		
	K 3	—																																																																																		
労務	R 1 塗装工																																																																																			
	R 2 運転手（一般）	全高 4m 以上 10m 未満のボール類(持込) の場合																																																																																		
	運転手（特殊）	全高 10m 以上 12m 以下のボール類(持込) の場合及び貸与の場合																																																																																		
	R 3	—																																																																																		
	R 4	—																																																																																		
材料	Z 1 鉛・クロムフリーさび止めペイント フェノール樹脂 M10 塗料	下塗の場合																																																																																		
	長油性フタル酸樹脂塗料(JIS K5516 2 種)淡彩色 塩化ゴム系塗料淡彩色	中塗、上塗の場合																																																																																		
	Z 2 軽油 バトロール給油	全高 4m 以上 12m 以下のボール類の場合																																																																																		
	Z 3	—																																																																																		
	Z 4	—																																																																																		
市場単価	S	—																																																																																		
積算上の注意事項		(控え頁) 2/2																																																																																		

工 種	張紙防止塗装工
-----	---------

改 正 理 由	一 部 改 正		改 正	備 考
	現	行	改 正	
	⑨ 張紙防止塗装工 1. 適 用 範 囲 本資料は、構造物への張紙を防止する塗装工に適用する。 1－1 適用出来る範囲 （1）素地調整の対象が鋼構造物である場合 1－2 適用出来ない範囲 （1）素地調整の対象がコンクリート構造物等である場合 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 素地調整 → 張紙防止塗装 （注）本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 IV-3-⑨-1		⑧ 張紙防止塗装工 1. 適 用 範 囲 本資料は、構造物への張紙を防止する塗装工に適用する。 1－1 適用出来る範囲 （1）素地調整の対象が鋼構造物である場合 （2）1工事の塗装面積が8m2以上である場合 1－2 適用出来ない範囲 （1）素地調整の対象がコンクリート構造物等である場合 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 素地調整 → 張紙防止塗装 （注）本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。	記載の修正・削除 （歩掛改定に伴う）
積算上の注意事項				（控え頁） 1／2

工 種	張紙防止塗装工
-----	---------

改 正 理 由	一部改正	改 正																																																									
現 行		改 正	備 考																																																								
3. 施 工 パッケージ 3－1 張紙防止塗装 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 1 張紙防止塗装 積算条件区分一覧 (積算単位：m2) <table><tr><td colspan="2">素地調整の有無</td></tr><tr><td colspan="2">有り</td></tr><tr><td colspan="2">無し</td></tr></table> (注) 1. 上表は、鋼構造物への張紙を防止する現場塗装を行う際の素地調整（ケレン）、ディスクサンダ、発動発電機、ワイヤブラシ、ハンマ、タガネ等のケレンに必要な運転経費、構造物への張紙を防止するための一層当りの塗装、希釈剤及びハケ、ローラ等の損耗費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、張紙防止塗装（材料費）は含まない。 2. 張紙防止の塗装の材料費は別途計上する。 3. ケレン作業の種別と程度は「第Ⅳ編第3章⑧道路付属構造物塗替工」による。 4. 複数層の塗装を行う場合は、素地調整無しで必要回数分を計上する。 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 2 張紙防止塗装 代表機労材規格一覧 <table><tr><td>項目</td><td colspan="2">代表機労材規格</td><td>備考</td></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>塗装工</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> 3－2 張紙防止塗装（材料費） (1) 条件区分 張紙防止塗装（材料費）における積算条件区分はない。 積算単位は、m2 とする。 IV-3-⑨-2		素地調整の有無		有り		無し		項目	代表機労材規格		備考	機械	K1	—		K2	—		K3	—		労務	R1	塗装工		R2	—		R3	—		R4	—		材料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		3. 施 工 パッケージ 3－1 張紙防止塗装 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 1 張紙防止塗装 積算条件区分一覧 (積算単位：m2) <table><tr><td colspan="2">素地調整の有無</td></tr><tr><td colspan="2">有り</td></tr><tr><td colspan="2">無し</td></tr></table> (注) 1. 上表は、鋼構造物への張紙を防止する現場塗装を行う際の素地調整（ケレン）、ディスクサンダ、電力に関する経費、ワイヤブラシ、ハンマ、タガネ等のケレンに必要な運転経費、構造物への張紙を防止するための一層当りの塗装、希釈剤及びハケ、ローラ等の損耗費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、張紙防止塗装（材料費）は含まない。 2. 張紙防止の塗装の材料費は別途計上する。 3. ケレン作業の種別と程度は「第Ⅳ編第3章⑦道路付属構造物塗替工」による。 4. 複数層の塗装を行う場合は、素地調整無しで必要回数分を計上する。	素地調整の有無		有り		無し		記載の変更
素地調整の有無																																																											
有り																																																											
無し																																																											
項目	代表機労材規格		備考																																																								
機械	K1	—																																																									
	K2	—																																																									
	K3	—																																																									
労務	R1	塗装工																																																									
	R2	—																																																									
	R3	—																																																									
	R4	—																																																									
材料	Z1	—																																																									
	Z2	—																																																									
	Z3	—																																																									
	Z4	—																																																									
市場単価	S	—																																																									
素地調整の有無																																																											
有り																																																											
無し																																																											
積算上の注意事項			(控え頁) 2／2																																																								

工 種	橋梁補強工(鋼板巻立て)(1)
-----	-----------------

改 正 理 由	一部改正	改 正		備 考
		現 行		
現 行		改 正		
2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 機 材 搬 入 掘削・土留設置工 プライミングアンカー創設工 足場設置工 下地処理工 鋼板取付工 プライミングアンカー設置工 固定アンカー工 現場溶接工 シーリング工 注入工 仕上工 現場塗装工 足場撤去工 鉄筋加工・組立工 型枠製作設置工 根巻きコンクリート工 型枠撤去工 機 材 搬 出 埋戻し・土留撤去工 (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 掘削・埋戻工及び土留設置・撤去工が必要な場合は、別途計上する。 IV-3-⑩-3		→ 現行どおり → (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 掘削・埋戻工及び土留設置・撤去工が必要な場合は、別途計上する。 3. 鉄筋工は、「第Ⅱ編第4章コンクリート工④鉄筋工」により別途計上する。		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
積算上の注意事項				(控え頁) 1／3

工 種	橋梁補強工(鋼板巻立て)(1)
-----	-----------------

改 正 理 由	一部改正	改 正		備 考																											
		現 行																													
3－8 アンカー材（材料費） （1）条件区分 アンカー材（材料費）における積算条件区分はない。 積算単位は、本とする。 3－9 アンカー注入材（材料費） （1）条件区分 アンカー注入材（材料費）における積算条件区分はない。 積算単位は、本とする。 （注）アンカー注入材（材料費）の100箇所当りの数量は、次表を標準とする。 表3. 12 アンカー注入材使用量一覧 （削孔深1m・100箇所当り） <table><tr><th>アンカー材径</th><th>削孔径(mm)</th><th>注入材使用量(kg)</th></tr><tr><td>D16</td><td>26</td><td>46</td></tr><tr><td>D19</td><td>29</td><td>52</td></tr><tr><td>D22</td><td>32</td><td>59</td></tr><tr><td>D25</td><td>35</td><td>65</td></tr><tr><td>D29</td><td>39</td><td>74</td></tr><tr><td>D32</td><td>42</td><td>80</td></tr><tr><td>D35</td><td>45</td><td>87</td></tr><tr><td>D38</td><td>48</td><td>93</td></tr></table> ただし、これにより難い場合は、次式によるものとする。 注入材使用量(kg)=[(D²－d²)×π×1／4×L×100箇所]×M×(1＋K) D： 削孔径（m） d： アンカー材径（m） L： 削孔深（m） M： 単位質量は1,200 kg／m3 とする。 K： ロス率は＋0.14 とする。 3－10 現場塗装工 現場塗装工は、別途計上する。 3－11 鉄筋加工・組立工 鉄筋工は、「第Ⅵ編第2章①－1鉄筋工（太径鉄筋含む）」により別途計上する。 3－12 型枠製作設置工 型枠製作設置工は、「第Ⅱ編第4章②－1型枠工」により別途計上する。 3－13 根巻きコンクリート工 根巻きコンクリート工は、「第Ⅱ編第4章①コンクリート工」により別途計上する。 IV-3-⑩-10		アンカー材径	削孔径(mm)	注入材使用量(kg)	D16	26	46	D19	29	52	D22	32	59	D25	35	65	D29	39	74	D32	42	80	D35	45	87	D38	48	93	現行どおり 3－10 現場塗装工 現場塗装工は、別途計上する。 3－11 鉄筋加工・組立工 鉄筋工は、「第Ⅱ編第4章コンクリート工④鉄筋工」により別途計上する。 3－12 型枠製作設置工 型枠製作設置工は、「第Ⅱ編第4章②－1型枠工」により別途計上する。 3－13 根巻きコンクリート工 根巻きコンクリート工は、「第Ⅱ編第4章①コンクリート工」により別途計上する。		記載の修正・削除 （歩掛改定に伴う）
アンカー材径	削孔径(mm)	注入材使用量(kg)																													
D16	26	46																													
D19	29	52																													
D22	32	59																													
D25	35	65																													
D29	39	74																													
D32	42	80																													
D35	45	87																													
D38	48	93																													
積算上の注意事項				（控え頁） 2／3																											

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																													
現 行				改 正				備 考																																																																																											
5. 施工単価入力基準表 (1) 鋼板（材料費） <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB431560</td><td>施 工 単 位</td><td>t</td></tr><tr><td>施 工 区 分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td colspan="3">J 1</td></tr><tr><td colspan="3">鋼板規格</td></tr><tr><td colspan="3">① 円形補強鋼板(ブラケット有) ② 円形補強鋼板(ブラケット無) ③ 矩形補強鋼板(ブラケット有) ④ 矩形補強鋼板(ブラケット無) ⑤ 下端拘束用円形鋼板 ⑥ 下端拘束用形鋼 ⑦ 各種</td></tr></table> (注) 1. 本コードは一般管理費のみ対象とし、管理費区分は「5」を設定している。 2. J 1条件で①～⑥を選択した場合は、工場製作品単価が計上される。なお、鋼板の塗装系はC－5系(上塗りまで含む)を標準とし、それ以外の塗装系の鋼板についてはJ 1条件の⑦により入力すること。 3. J 1条件で⑦を選択した場合は、工場製作品単価 (Y-0800008) [円／t] を単価登録すること。 4. 鋼板巻立て鋼材の現場取卸費用を別途積み上げる必要はない。 (2) スタッドジベル（材料費） <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB431650</td><td>施 工 単 位</td><td>本</td></tr><tr><td>施 工 区 分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td colspan="3">J 1</td></tr><tr><td colspan="3">スタッドジベル規格</td></tr><tr><td colspan="3">① φ19×250 ② φ22×250 ③各種</td></tr></table> (注) 1. 本コードは一般管理費のみ対象とし、管理費区分は「5」を設定している。 2. J 1条件で①～②を選択した場合は、工場製作品単価が計上される。なお、適用にあたっては、規格・仕様等の詳細について確認すること。 3. J 1条件で③を選択した場合は、スタッドジベル工場製作品単価 (Y-0128000) [円／本] を単価登録すること。 (3) 鋼板巻立て <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB431570</td><td>施 工 単 位</td><td>m2</td></tr><tr><td>施 工 区 分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td colspan="2">J 1</td><td>J 2</td></tr><tr><td colspan="2">支柱区分</td><td>注入材材質</td></tr><tr><td colspan="2">(表 5.1)</td><td>①無収縮モルタル ②エポキシ樹脂</td></tr></table> 表5.1 支柱区分 <table><tr><td>支柱区分</td><td>A 支柱</td><td>B 支柱</td><td>C 支柱</td><td>D 支柱</td><td>E 支柱</td><td>F 支柱</td><td>G 支柱</td><td>H 支柱</td></tr><tr><td>入力番号</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td><td>⑥</td><td>⑦</td><td>⑧</td></tr></table> IV-3-⑩-12				パッケージコード	CB431560	施 工 単 位	t	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1			鋼板規格			① 円形補強鋼板(ブラケット有) ② 円形補強鋼板(ブラケット無) ③ 矩形補強鋼板(ブラケット有) ④ 矩形補強鋼板(ブラケット無) ⑤ 下端拘束用円形鋼板 ⑥ 下端拘束用形鋼 ⑦ 各種			パッケージコード	CB431650	施 工 単 位	本	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1			スタッドジベル規格			① φ19×250 ② φ22×250 ③各種			パッケージコード	CB431570	施 工 単 位	m2	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1		J 2	支柱区分		注入材材質	(表 5.1)		①無収縮モルタル ②エポキシ樹脂	支柱区分	A 支柱	B 支柱	C 支柱	D 支柱	E 支柱	F 支柱	G 支柱	H 支柱	入力番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	5. 施工単価入力基準表 (1) 鋼板（材料費） <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB431560</td><td>施 工 単 位</td><td>t</td></tr><tr><td>施 工 区 分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td colspan="3">J 1</td></tr><tr><td colspan="3">鋼板規格</td></tr><tr><td colspan="3">① 円形補強鋼板(ブラケット有) ② 円形補強鋼板(ブラケット無) ③ 矩形補強鋼板(ブラケット有) ④ 矩形補強鋼板(ブラケット無) ⑤ 下端拘束用円形鋼板 ⑥ 下端拘束用形鋼 ⑦ 各種</td></tr></table> (注) 1. 本コードは一般管理費のみ対象とし、管理費区分は「5」を設定している。 2. J 1条件で①～⑥を選択した場合は、工場製作品単価が計上される。なお、鋼板の塗装系はC－5系(上塗りまで含む)を標準とし、それ以外の塗装系の鋼板についてはJ 1条件の⑦により入力すること。 3. J 1条件で⑦を選択した場合は、鋼板単価 (Y-1222104) [円／t] を単価登録すること。 4. 鋼板巻立て鋼材の現場取卸費用を別途積み上げる必要はない。 現行どおり				パッケージコード	CB431560	施 工 単 位	t	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1			鋼板規格			① 円形補強鋼板(ブラケット有) ② 円形補強鋼板(ブラケット無) ③ 矩形補強鋼板(ブラケット有) ④ 矩形補強鋼板(ブラケット無) ⑤ 下端拘束用円形鋼板 ⑥ 下端拘束用形鋼 ⑦ 各種			記載の変更	
パッケージコード	CB431560	施 工 単 位	t																																																																																																
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																																		
各 種	J 1																																																																																																		
	鋼板規格																																																																																																		
	① 円形補強鋼板(ブラケット有) ② 円形補強鋼板(ブラケット無) ③ 矩形補強鋼板(ブラケット有) ④ 矩形補強鋼板(ブラケット無) ⑤ 下端拘束用円形鋼板 ⑥ 下端拘束用形鋼 ⑦ 各種																																																																																																		
パッケージコード	CB431650	施 工 単 位	本																																																																																																
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																																		
各 種	J 1																																																																																																		
	スタッドジベル規格																																																																																																		
	① φ19×250 ② φ22×250 ③各種																																																																																																		
パッケージコード	CB431570	施 工 単 位	m2																																																																																																
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																																		
各 種	J 1		J 2																																																																																																
	支柱区分		注入材材質																																																																																																
	(表 5.1)		①無収縮モルタル ②エポキシ樹脂																																																																																																
支柱区分	A 支柱	B 支柱	C 支柱	D 支柱	E 支柱	F 支柱	G 支柱	H 支柱																																																																																											
入力番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧																																																																																											
パッケージコード	CB431560	施 工 単 位	t																																																																																																
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																																		
各 種	J 1																																																																																																		
	鋼板規格																																																																																																		
	① 円形補強鋼板(ブラケット有) ② 円形補強鋼板(ブラケット無) ③ 矩形補強鋼板(ブラケット有) ④ 矩形補強鋼板(ブラケット無) ⑤ 下端拘束用円形鋼板 ⑥ 下端拘束用形鋼 ⑦ 各種																																																																																																		
積算上の注意事項								(控え頁) 3／3																																																																																											

工 種	橋梁補強工(鋼板巻立て)(2)
-----	-----------------

改 正 理 由	一部改正	改 正		備 考
		現 行	現 行	
⑪ー2 橋梁補強工(鋼板巻立て)(2) 1. 適 用 範 囲 本資料は、「⑪ー1 橋梁補強工(鋼板巻立て)(1)」が適用出来る寸法の範囲を外れた橋脚の鋼板巻立てに適用する。 1ー1 適用出来る範囲 1ー1ー1 鋼板取付, シール材(材料費), 注入材(材料費) (1) 矩形, 小判形支柱(幅1～10m, 奥行き1～6m), 円形支柱(径1～6m)以外の橋脚の場合 (2) シール材がエポキシ樹脂の場合 (3) 注入材が無収縮モルタル又はエポキシ樹脂の場合 1ー2 適用出来ない範囲 1ー2ー1 鋼板取付, シール材(材料費), 注入材(材料費) (1) 1ー1ー1(1)～(3)のいずれか1つでも該当しない場合 (2) 梁の補強の場合 2. 施 工 概 要 施工フローは, 下記を標準とする。 機 材 搬 入 掘 削 ・ 土 留 設 置 工 フ リ ン グ ア ン カ ・ 削 乳 工 足 場 ・ 設 置 工 下 地 処 理 工 鋼 板 取 付 工 フ リ ン グ ア ン カ ・ 定 着 工 固 定 ア ン カ ー 工 現 場 溶 接 工 シ ー ル 工 注 入 工 仕 上 工 現 場 塗 装 工 足 場 撤 去 工 鉄 筋 加 工 ・ 組 立 工 型 枠 製 作 ・ 設 置 工 根 金 シ ン ク リ ー ト 工 型 枠 撤 去 工 機 材 搬 出 埋 戻 し ・ 土 留 撤 去 工 (注) 本施工パッケージで対応しているのは, 二重実線部分のみである。 IV-3-⑪-15		⑩ー2 橋梁補強工(鋼板巻立て)(2) 1. 適 用 範 囲 本資料は、「⑩ー1 橋梁補強工(鋼板巻立て)(1)」が適用出来る寸法の範囲を外れた橋脚の鋼板巻立てに適用する。 現行どおり (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは, 二重実線部分のみである。 2. 掘削・埋戻工及び土留設置・撤去工が必要な場合は, 別途計上する。 3. 鉄筋工は, 「第Ⅱ編第4章コンクリート工④鉄筋工」により別途計上する。	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
積算上の注意事項	(控え頁) 1／2			

工 種	橋梁補強工（鋼板巻立て）(2)
-----	-----------------

改 正 理 由	一部改正	改 正		備 考																		
		現 行																				
3－4 シール材（材料費） （１）条件区分 シール材（材料費）における積算条件区分はない。 積算単位は、m2 とする。 （注）１．シール材の数量は、縁部、パイプ周りについて「シール断面積×シール延長×単位質量 1,700 (kg／m3) ×（１＋割増率）」より算出し、割増率は、表 3．３ に示す値とする。 ２．割増率の内訳は、諸雑費とシール材の材料ロスである。（シール材の標準ロス率は、＋0.14） ３．諸雑費の内訳は、３－３ 鋼板取付（注）３ に示す。 <table><tr><th colspan="2">表3.3 割増率一覧</th></tr><tr><th colspan="2">割増率</th></tr><tr><th>注入材が無収縮モルタルの場合</th><th>注入材がエポキシ樹脂の場合</th></tr><tr><td>0.43</td><td>0.36</td></tr></table> 3－5 注入材（材料費） （１）条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 <table><tr><th colspan="2">表3.4 注入材（材料費） 積算条件区分一覧</th></tr><tr><th colspan="2">（積算単位：m2）</th></tr><tr><th colspan="2">注入材材質</th></tr><tr><th colspan="2">無収縮モルタル</th></tr><tr><th colspan="2">エポキシ樹脂</th></tr></table> （注）１．注入材の数量は、下記によるものとする。 ① 無収縮モルタルの場合は下記の式より必要数量を計上する。 「（鋼板取付面積 1 (m2) × 注入厚 0.03 (m)－裏当て鋼板体積）× 単位質量 1,850 (kg／m3) ×（１＋割増率）」より算出し、割増率は＋0.44 とする。 ② エポキシ樹脂の場合は下記の式より必要数量を計上する。 「（鋼板取付面積 1 (m2) × 注入厚 0.005 (m)－裏当て鋼板体積）× 単位質量 1,200 (kg／m3) ×（１＋割増率）」より算出し、割増率は＋0.31 とする。 ２．割増率の内訳は、諸雑費と注入材のロスである。（注入材の標準ロス率は、無収縮モルタルが＋0.15、エポキシ樹脂が＋0.10 とする。） ３．諸雑費の内訳は、「３－３ 鋼板取付（注）３」に示す。 3－6 現場溶接 現場溶接は、「㊦－１ 橋梁補強工（鋼板巻立て）（１） ３－6 現場溶接」により計上する。 3－7 フーチングアンカー削孔・定着 フーチングアンカー削孔・定着は「㊦－１ 橋梁補強工（鋼板巻立て）（１） ３－7 フーチングアンカー削孔・定着、３－8 アンカー材（材料費）、３－9 アンカー注入材（材料費）」により計上する。 3－8 現場塗装工 現場塗装工は、別途計上する。 3－9 鉄筋加工・組立工 鉄筋工は、「第Ⅵ編第 2 章㊦－１鉄筋工（太径鉄筋含む）」により別途計上する。 IV-3-㊦-17		表3.3 割増率一覧		割増率		注入材が無収縮モルタルの場合	注入材がエポキシ樹脂の場合	0.43	0.36	表3.4 注入材（材料費） 積算条件区分一覧		（積算単位：m2）		注入材材質		無収縮モルタル		エポキシ樹脂		現行どおり 3－6 現場溶接 現場溶接は、「㊦－１ 橋梁補強工（鋼板巻立て）（１） ３－6 現場溶接」により計上する。 3－7 フーチングアンカー削孔・定着 フーチングアンカー削孔・定着は「㊦－１ 橋梁補強工（鋼板巻立て）（１） ３－7 フーチングアンカー削孔・定着、３－8 アンカー材（材料費）、３－9 アンカー注入材（材料費）」により計上する。 3－8 現場塗装工 現場塗装工は、別途計上する。 3－9 鉄筋加工・組立工 鉄筋工は、「第Ⅱ編第 4 章コンクリート工㊦鉄筋工」により別途計上する。		記載の修正・削除 （歩掛改定に伴う）
表3.3 割増率一覧																						
割増率																						
注入材が無収縮モルタルの場合	注入材がエポキシ樹脂の場合																					
0.43	0.36																					
表3.4 注入材（材料費） 積算条件区分一覧																						
（積算単位：m2）																						
注入材材質																						
無収縮モルタル																						
エポキシ樹脂																						
積算上の注意事項				（控え頁） 2／2																		

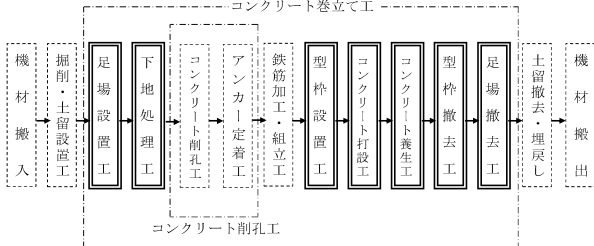
工 種	橋梁補強工(コンクリート巻立て)(1)
-----	---------------------

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正	
		現 行	
現 行	改 正		備 考
支柱径 (m) 4.0 以下 2.4 以上 未満 1.5 以上 以上 未満 2.4 以上 以下 1.5 2.4 4.0 支柱径(m) (注) 支柱径は、補強前の支柱寸法とする。 図1.2 円形支柱の適用範囲 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 機 材 搬 入 掘 削 ・ 土 留 設 置 工 足 場 設 置 工 下 地 処 理 工 コン ク リ ー ト 削 孔 工 ア ン カ ー 定 着 工 鉄 筋 加 工 ・ 組 立 工 型 枠 設 置 工 コン ク リ ー ト 打 設 工 コン ク リ ー ト 養 生 工 型 枠 撤 去 工 足 場 撤 去 工 土 留 撤 去 ・ 埋 戻 し 工 機 材 搬 出 コンクリート巻立て コンクリート削孔工 (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 鉄筋加工・組立工は、「第Ⅵ編第2章①ー1鉄筋工（太径鉄筋含む）」により別途計上する。 IV-3-⑩-20	現行どおり		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2

工 種	橋梁補強工(コンクリート巻立て)(1)
-----	---------------------

改 正 理 由	一部改正	改 正																																													
		現 行																																													
現 行		改 正	備 考																																												
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 2 コンクリート削孔 代表機労材規格一覧</caption><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>上木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>注入材 エポキシ樹脂</td><td></td></tr><tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> 3－2 アンカー材（材料費） (1) 条件区分 アンカー材（材料費）の積算条件区分はない。 積算単位は、本とする。 (注) 1. アンカーの材料費は、加工・組立が不要なアンカー材（製品）を標準とする。 2. 鉄筋（異形棒鋼）をアンカー材として使用する場合は、「第Ⅵ編第2章①－1 鉄筋工（太径鉄筋含む）」により別途使用質量を計上する。 IV-3-⑩-22		項目		代表機労材規格	備考	機械	K1	—		K2	—		K3	—		労務	R1	特殊作業員		R2	上木一般世話役		R3	普通作業員		R4	—		材料	Z1	注入材 エポキシ樹脂		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		現行どおり 3－2 アンカー材（材料費） (1) 条件区分 アンカー材（材料費）の積算条件区分はない。 積算単位は、本とする。 (注) 1. アンカーの材料費は、加工・組立が不要なアンカー材（製品）を標準とする。 2. 鉄筋（異形棒鋼）をアンカー材として使用する場合は、「第Ⅱ編第4章コンクリート工④鉄筋工」により別途使用質量を計上する。	記載の修正・削除 （歩掛改定に伴う）
項目		代表機労材規格	備考																																												
機械	K1	—																																													
	K2	—																																													
	K3	—																																													
労務	R1	特殊作業員																																													
	R2	上木一般世話役																																													
	R3	普通作業員																																													
	R4	—																																													
材料	Z1	注入材 エポキシ樹脂																																													
	Z2	—																																													
	Z3	—																																													
	Z4	—																																													
市場単価	S	—																																													
積算上の注意事項			（控え頁） 2／2																																												

工 種	橋梁補強工(コンクリート巻立て)(2)
-----	---------------------

改 正 理 由	一部改正	改 正		備 考
		現 行		
現 行		改 正		
⑪ー4 橋梁補強工(コンクリート巻立て)(2)		⑩ー4 橋梁補強工(コンクリート巻立て)(2)		記載の変更
1. 適用範囲 本資料は、「橋梁補強工(コンクリート巻立て)(1)」が適用範囲外のＲＣ橋脚（既設の鉄筋コンクリート橋脚）のコンクリート巻立て工における足場工、下地処理工、型枠工、コンクリート工に適用する。なお、支柱の断面形状及び断面寸法が鉛直方向に一定の構造物を対象とし、梁及びフーチングの補強には適用しない。		1. 適用範囲 本資料は、 ＲＣ橋脚（既設の鉄筋コンクリート橋脚）の補強用コンクリート巻立て工であり、コンクリート巻立て厚0.25m、コンクリート巻立て高さ20m以下の内「第Ⅳ編第3章⑩-3 橋梁補強工(コンクリート巻立て)(1)」 が 適用範囲外のＲＣ橋脚（既設の鉄筋コンクリート橋脚）のコンクリート巻立て工 における足場工、下地処理工、型枠工、コンクリート工に適用する。なお、支柱の断面形状及び断面寸法が鉛直方向に一定の構造物を対象とし、梁及びフーチングの補強には適用しない。		
2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。		現行どおり		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
		現行どおり		
(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. コンクリート削孔工、アンカー定着工は、「第Ⅳ編第3章⑩ー3 橋梁補強工(コンクリート巻立て)(1)」により別途計上する。 3. 鉄筋加工・組立工は、「第Ⅵ編第2章①ー1 鉄筋工(太径鉄筋含む)」により別途計上する。		(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. コンクリート削孔工、アンカー定着工は、「 第Ⅳ編第3章⑩ー3 橋梁補強工(コンクリート巻立て)(1) 」により別途計上する。 3. 鉄筋工は、「 第Ⅱ編第4章コンクリート工④鉄筋工 」により別途計上する。		
3. 施工パッケージ 3ー1 足場(適用範囲外コンクリート巻立て工) (1) 条件区分 足場(適用範囲外コンクリート巻立て工)における積算条件区分はない。 積算単位は、掛㎡とする。 (注) 1. コンクリート巻立て工における足場の設置・撤去の他、壁つなぎ、敷板、建枠、筋違、板付布枠、連結ビン、アームロック、ジャッキベース、手摺柱、手摺、手摺枠(二段手摺の機能を有する)、幅木、階段、養生ネット(メッシュシート)、安全ネット等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 足場は、枠組足場(手摺先行型)を標準とする。 3. 単管足場及び単管傾斜足場については別途計上する。		現行どおり		
IV-3-⑪-28				
積算上の注意事項				(控え頁) 1／4

工 種	橋梁補強工(コンクリート巻立て) (2)
-----	----------------------

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行																																																																																										
現 行				改 正		備 考																																																																																								
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 1 足場(適用範囲外コンクリート巻立て工) 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第3 次基準値)] 12～13t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>とび工</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>				項目		代表機労材規格	備考	機械	K1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第3 次基準値)] 12～13t 吊	賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	とび工		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		材料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 1 足場(適用範囲外コンクリート巻立て工) 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第3 次基準値)] 最大吊上能力 12～13t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>とび工</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>		項目		代表機労材規格	備考	機械	K1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第3 次基準値)] 最大吊上能力 12～13t 吊	賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	とび工		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		材料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
項目		代表機労材規格	備考																																																																																											
機械	K1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第3 次基準値)] 12～13t 吊	賃料																																																																																											
	K2	—																																																																																												
	K3	—																																																																																												
労務	R1	とび工																																																																																												
	R2	普通作業員																																																																																												
	R3	土木一般世話役																																																																																												
	R4	—																																																																																												
材料	Z1	—																																																																																												
	Z2	—																																																																																												
	Z3	—																																																																																												
	Z4	—																																																																																												
市場単価	S	—																																																																																												
項目		代表機労材規格	備考																																																																																											
機械	K1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第3 次基準値)] 最大吊上能力 12～13t 吊	賃料																																																																																											
	K2	—																																																																																												
	K3	—																																																																																												
労務	R1	とび工																																																																																												
	R2	普通作業員																																																																																												
	R3	土木一般世話役																																																																																												
	R4	—																																																																																												
材料	Z1	—																																																																																												
	Z2	—																																																																																												
	Z3	—																																																																																												
	Z4	—																																																																																												
市場単価	S	—																																																																																												
IV-3-①-29																																																																																														
積算上の注意事項						(控え頁) 2／4																																																																																								

工 種	橋梁補強工(コンクリート巻立て) (2)
-----	----------------------

改 正 理 由	一部改正	改 正		備 考																																																																																											
		現 行	現 行																																																																																												
3－2 下地処理（適用範囲外コンクリート巻立て工） （１）条件区分 下地処理（適用範囲外コンクリート巻立て工）における積算条件区分はない。 積算単位は、m2 とする。 （注）１．コンクリート巻立て工における下地処理の他、ピックハンマ、空気圧縮機の機械損料及び空気圧縮機の燃料等の費用等、その施工に必要な全ての労務・材料費（損料等を含む）を含む。 ２．下地処理はチッピングを標準とする。 （２）代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 2 下地処理(適用範囲外コンクリート巻立て工) 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> 3－3 型枠（適用範囲外コンクリート巻立て工） （１）条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 3 型枠(適用範囲外コンクリート巻立て工) 積算条件区分一覧 （積算単位：m2） <table><tr><th>型枠種別</th></tr><tr><td>一般型枠</td></tr><tr><td>合板円形型枠</td></tr></table> （注）１．上表は、コンクリート巻立て工における矩形（小判形）及び円形支柱の一般型枠及び半径 3 m 以下の合板円形型枠の製作・設置・撤去、はく離剤塗布及びクレーン作業の他、型枠用合板、さん木、電動工具、角パイプ、型枠締め付け金物、プラスチックコーン、セパレータ、型枠用あと施工アンカー、はく離剤及び電力に関する経費等及び仮設材の持上げ（下げ）に必要な機械（トラック（クレーン装置付））に要する費用等、その施工に必要な全ての労務・材料費（損料等を含む）を含む。 ２．一般型枠の場合は、小判形支柱の両端部は含むが、円形支柱 3 m 以下の円形部分には適用しない。 IV-3-㉑-30		項目		代表機労材規格	備考	機械	K1	—		K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	特殊作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		材料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		型枠種別	一般型枠	合板円形型枠	現行どおり （２）代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 2 下地処理(適用範囲外コンクリート巻立て工) 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>		項目		代表機労材規格	備考	機械	K1	—		K2	—		K3	—		労務	R1	特殊作業員		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		材料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		記載の修正・削除 （歩掛改定に伴う）
		項目		代表機労材規格	備考																																																																																										
機械	K1	—																																																																																													
	K2	—																																																																																													
	K3	—																																																																																													
労務	R1	普通作業員																																																																																													
	R2	特殊作業員																																																																																													
	R3	土木一般世話役																																																																																													
	R4	—																																																																																													
材料	Z1	—																																																																																													
	Z2	—																																																																																													
	Z3	—																																																																																													
	Z4	—																																																																																													
市場単価	S	—																																																																																													
型枠種別																																																																																															
一般型枠																																																																																															
合板円形型枠																																																																																															
項目		代表機労材規格	備考																																																																																												
機械	K1	—																																																																																													
	K2	—																																																																																													
	K3	—																																																																																													
労務	R1	特殊作業員																																																																																													
	R2	普通作業員																																																																																													
	R3	土木一般世話役																																																																																													
	R4	—																																																																																													
材料	Z1	—																																																																																													
	Z2	—																																																																																													
	Z3	—																																																																																													
	Z4	—																																																																																													
市場単価	S	—																																																																																													
積算上の注意事項			（控え頁） 3／4																																																																																												

改 正 理 由		一部改正		改 正																																																																																																																																																																																									
				現 行																																																																																																																																																																																									
現 行				改 正																																																																																																																																																																																									
(2) 代表機材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。 表3. 4 型枠(適用範囲外コンクリート巻立て工) 代表機材材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機材材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>型わく工</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> 3－4 コンクリート (適用範囲外コンクリート巻立て工) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 5 コンクリート(適用範囲外コンクリート巻立て工) 積算条件区分一覧 (積算単位：m3) <table><tr><th>生コンクリート規格</th><th>養生工の有無</th><th>生コンクリート規格</th><th>養生工の有無</th></tr><tr><td rowspan="2">21-8-25 (20) (普通)</td><td>有り</td><td rowspan="2">24-12-25 (20) (高炉)</td><td>有り</td></tr><tr><td>無し</td><td>無し</td></tr><tr><td rowspan="2">21-12-25 (20) (普通)</td><td>有り</td><td rowspan="2">24-8-40 (普通)</td><td>有り</td></tr><tr><td>無し</td><td>無し</td></tr><tr><td rowspan="2">21-8-25 (20) (高炉)</td><td>有り</td><td rowspan="2">24-12-40 (普通)</td><td>有り</td></tr><tr><td>無し</td><td>無し</td></tr><tr><td rowspan="2">21-12-25 (20) (高炉)</td><td>有り</td><td rowspan="2">24-8-40 (高炉)</td><td>有り</td></tr><tr><td>無し</td><td>無し</td></tr><tr><td rowspan="2">24-8-25 (20) (普通)</td><td>有り</td><td rowspan="2">24-12-40 (高炉)</td><td>有り</td></tr><tr><td>無し</td><td>無し</td></tr><tr><td rowspan="2">24-12-25 (20) (普通)</td><td>有り</td><td rowspan="2">各 種</td><td>有り</td></tr><tr><td>無し</td><td>無し</td></tr><tr><td rowspan="2">24-8-25 (20) (高炉)</td><td>有り</td><td></td><td></td></tr><tr><td>無し</td><td></td><td></td></tr></table> (注) 1. 上表は、コンクリート巻立て工におけるコンクリートの打設・養生、ホースの簡先作業等を行う機械付補助労務の他、コンクリート打設に使用するコンクリートパイプブレータ損料、養生のポンプ損料及び養生マット等及び電力に関する経費等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、 +0.04) 3. コンクリート養生は、一般養生、特殊養生（練炭）及び特殊養生（ジェットヒータ）にかかわらず適用出来る。 4. 仮囲い内ジェットヒータ養生を必要とする場合は、養生工無しを選択し、養生費は、「第Ⅱ編第5章⑩ー2 雪寒仮囲い工」により別途計上する。 IV-3-⑩-31				項目		代表機材材規格	備考	機械	K1	—		K2	—		K3	—		労務	R1	型わく工		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		材料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		生コンクリート規格	養生工の有無	生コンクリート規格	養生工の有無	21-8-25 (20) (普通)	有り	24-12-25 (20) (高炉)	有り	無し	無し	21-12-25 (20) (普通)	有り	24-8-40 (普通)	有り	無し	無し	21-8-25 (20) (高炉)	有り	24-12-40 (普通)	有り	無し	無し	21-12-25 (20) (高炉)	有り	24-8-40 (高炉)	有り	無し	無し	24-8-25 (20) (普通)	有り	24-12-40 (高炉)	有り	無し	無し	24-12-25 (20) (普通)	有り	各 種	有り	無し	無し	24-8-25 (20) (高炉)	有り			無し			(2) 代表機材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。 表3. 4 型枠(適用範囲外コンクリート巻立て工) 代表機材材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機材材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>型わく工</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> 3－4 コンクリート (適用範囲外コンクリート巻立て工) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 5 コンクリート(適用範囲外コンクリート巻立て工) 積算条件区分一覧 (積算単位：m3) <table><tr><th>生コンクリート規格</th><th>養生工の有無</th><th>生コンクリート規格</th><th>養生工の有無</th></tr><tr><td rowspan="2">21-8-25 (20) (普通)</td><td>有り</td><td rowspan="2">24-12-25 (20) (高炉)</td><td>有り</td></tr><tr><td>無し</td><td>無し</td></tr><tr><td rowspan="2">21-12-25 (20) (普通)</td><td>有り</td><td rowspan="2">24-8-40 (普通)</td><td>有り</td></tr><tr><td>無し</td><td>無し</td></tr><tr><td rowspan="2">21-8-25 (20) (高炉)</td><td>有り</td><td rowspan="2">24-12-40 (普通)</td><td>有り</td></tr><tr><td>無し</td><td>無し</td></tr><tr><td rowspan="2">21-12-25 (20) (高炉)</td><td>有り</td><td rowspan="2">24-8-40 (高炉)</td><td>有り</td></tr><tr><td>無し</td><td>無し</td></tr><tr><td rowspan="2">24-8-25 (20) (普通)</td><td>有り</td><td rowspan="2">24-12-40 (高炉)</td><td>有り</td></tr><tr><td>無し</td><td>無し</td></tr><tr><td rowspan="2">24-12-25 (20) (普通)</td><td>有り</td><td rowspan="2">各 種</td><td>有り</td></tr><tr><td>無し</td><td>無し</td></tr><tr><td rowspan="2">24-8-25 (20) (高炉)</td><td>有り</td><td></td><td></td></tr><tr><td>無し</td><td></td><td></td></tr></table> (注) 1. 上表は、コンクリート巻立て工におけるコンクリートの打設・養生、ホースの簡先作業等を行う機械付補助労務の他、コンクリート打設に使用するコンクリートパイプブレータ損料、養生のポンプ損料及び養生マット等及び電力に関する経費等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、 +0.04) 3. コンクリート養生は、一般養生、特殊養生（練炭）及び特殊養生（ジェットヒータ）にかかわらず適用出来る。 4. 仮囲い内ジェットヒータ養生を必要とする場合は、養生工無しを選択し、養生費は、「第Ⅱ編第5章⑩ー2 雪寒仮囲い工」により別途計上する。		項目		代表機材材規格	備考	機械	K1	—		K2	—		K3	—		労務	R1	型わく工		R2	土木一般世話役		R3	普通作業員		R4	—		材料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		生コンクリート規格	養生工の有無	生コンクリート規格	養生工の有無	21-8-25 (20) (普通)	有り	24-12-25 (20) (高炉)	有り	無し	無し	21-12-25 (20) (普通)	有り	24-8-40 (普通)	有り	無し	無し	21-8-25 (20) (高炉)	有り	24-12-40 (普通)	有り	無し	無し	21-12-25 (20) (高炉)	有り	24-8-40 (高炉)	有り	無し	無し	24-8-25 (20) (普通)	有り	24-12-40 (高炉)	有り	無し	無し	24-12-25 (20) (普通)	有り	各 種	有り	無し	無し	24-8-25 (20) (高炉)	有り			無し			記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
項目		代表機材材規格	備考																																																																																																																																																																																										
機械	K1	—																																																																																																																																																																																											
	K2	—																																																																																																																																																																																											
	K3	—																																																																																																																																																																																											
労務	R1	型わく工																																																																																																																																																																																											
	R2	普通作業員																																																																																																																																																																																											
	R3	土木一般世話役																																																																																																																																																																																											
	R4	—																																																																																																																																																																																											
材料	Z1	—																																																																																																																																																																																											
	Z2	—																																																																																																																																																																																											
	Z3	—																																																																																																																																																																																											
	Z4	—																																																																																																																																																																																											
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																											
生コンクリート規格	養生工の有無	生コンクリート規格	養生工の有無																																																																																																																																																																																										
21-8-25 (20) (普通)	有り	24-12-25 (20) (高炉)	有り																																																																																																																																																																																										
	無し		無し																																																																																																																																																																																										
21-12-25 (20) (普通)	有り	24-8-40 (普通)	有り																																																																																																																																																																																										
	無し		無し																																																																																																																																																																																										
21-8-25 (20) (高炉)	有り	24-12-40 (普通)	有り																																																																																																																																																																																										
	無し		無し																																																																																																																																																																																										
21-12-25 (20) (高炉)	有り	24-8-40 (高炉)	有り																																																																																																																																																																																										
	無し		無し																																																																																																																																																																																										
24-8-25 (20) (普通)	有り	24-12-40 (高炉)	有り																																																																																																																																																																																										
	無し		無し																																																																																																																																																																																										
24-12-25 (20) (普通)	有り	各 種	有り																																																																																																																																																																																										
	無し		無し																																																																																																																																																																																										
24-8-25 (20) (高炉)	有り																																																																																																																																																																																												
	無し																																																																																																																																																																																												
項目		代表機材材規格	備考																																																																																																																																																																																										
機械	K1	—																																																																																																																																																																																											
	K2	—																																																																																																																																																																																											
	K3	—																																																																																																																																																																																											
労務	R1	型わく工																																																																																																																																																																																											
	R2	土木一般世話役																																																																																																																																																																																											
	R3	普通作業員																																																																																																																																																																																											
	R4	—																																																																																																																																																																																											
材料	Z1	—																																																																																																																																																																																											
	Z2	—																																																																																																																																																																																											
	Z3	—																																																																																																																																																																																											
	Z4	—																																																																																																																																																																																											
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																											
生コンクリート規格	養生工の有無	生コンクリート規格	養生工の有無																																																																																																																																																																																										
21-8-25 (20) (普通)	有り	24-12-25 (20) (高炉)	有り																																																																																																																																																																																										
	無し		無し																																																																																																																																																																																										
21-12-25 (20) (普通)	有り	24-8-40 (普通)	有り																																																																																																																																																																																										
	無し		無し																																																																																																																																																																																										
21-8-25 (20) (高炉)	有り	24-12-40 (普通)	有り																																																																																																																																																																																										
	無し		無し																																																																																																																																																																																										
21-12-25 (20) (高炉)	有り	24-8-40 (高炉)	有り																																																																																																																																																																																										
	無し		無し																																																																																																																																																																																										
24-8-25 (20) (普通)	有り	24-12-40 (高炉)	有り																																																																																																																																																																																										
	無し		無し																																																																																																																																																																																										
24-12-25 (20) (普通)	有り	各 種	有り																																																																																																																																																																																										
	無し		無し																																																																																																																																																																																										
24-8-25 (20) (高炉)	有り																																																																																																																																																																																												
	無し																																																																																																																																																																																												
積算上の注意事項				(控え頁) 4／4																																																																																																																																																																																									

工 種	橋梁地覆補修工
-----	---------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行																																																																					
現 行		改 正	備 考																																																																				
3. 施工パッケージ 3-1 とりこわし (1) 条件区分 とりこわしにおける積算条件区分はない。 積算単位は、m3 とする。 (注) 1. コンクリートブレーカによる地覆コンクリートのとりこわし作業、旧高欄の撤去、鉄筋の切断、破砕片除去・集積及び運搬車への積込作業の他、コンクリートカッタ、ハンドドリル（空圧式）、チゼル、ホース、鉄筋切断機等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. とりこわし作業量には、高欄のコンクリート部分も含む。 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><tr><th colspan="3">表3. 1 とりこわし 代表機労材規格一覧</th></tr><tr><th>項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1 空気圧縮機〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）〕吐出量 3.5～3.7m3 /min 吐出圧力 0.7MPa</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2 さく岩機（コンクリートブレーカ）20kg 級</td><td></td></tr><tr><td>K 3 －</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1 特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2 普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3 土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4 －</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1 軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2 －</td><td></td></tr><tr><td>Z 3 －</td><td></td></tr><tr><td>Z 4 －</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S －</td><td></td></tr></table>		表3. 1 とりこわし 代表機労材規格一覧			項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1 空気圧縮機〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）〕吐出量 3.5～3.7m3 /min 吐出圧力 0.7MPa	賃料	K 2 さく岩機（コンクリートブレーカ）20kg 級		K 3 －		労務	R 1 特殊作業員		R 2 普通作業員		R 3 土木一般世話役		R 4 －		材料	Z 1 軽油 バトロール給油		Z 2 －		Z 3 －		Z 4 －		市場単価	S －		現行どおり (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><tr><th colspan="3">表3. 1 とりこわし 代表機労材規格一覧</th></tr><tr><th>項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1 空気圧縮機〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（低騒音型）・排出ガス対策型（第 2 次基準値）〕吐出量 3.5～3.7m3 /min 吐出圧力 0.7MPa</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2 さく岩機（コンクリートブレーカ）通称 20kg 級</td><td></td></tr><tr><td>K 3 －</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1 特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2 普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3 土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4 －</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1 軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2 －</td><td></td></tr><tr><td>Z 3 －</td><td></td></tr><tr><td>Z 4 －</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S －</td><td></td></tr></table>	表3. 1 とりこわし 代表機労材規格一覧			項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1 空気圧縮機〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（ 低騒音型 ）・排出ガス対策型（第 2 次基準値）〕吐出量 3.5～3.7m3 /min 吐出圧力 0.7MPa	賃料	K 2 さく岩機（コンクリートブレーカ） 通称 20kg 級		K 3 －		労務	R 1 特殊作業員		R 2 普通作業員		R 3 土木一般世話役		R 4 －		材料	Z 1 軽油 バトロール給油		Z 2 －		Z 3 －		Z 4 －		市場単価	S －		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
表3. 1 とりこわし 代表機労材規格一覧																																																																							
項目	代表機労材規格	備考																																																																					
機械	K 1 空気圧縮機〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）〕吐出量 3.5～3.7m3 /min 吐出圧力 0.7MPa	賃料																																																																					
	K 2 さく岩機（コンクリートブレーカ）20kg 級																																																																						
	K 3 －																																																																						
労務	R 1 特殊作業員																																																																						
	R 2 普通作業員																																																																						
	R 3 土木一般世話役																																																																						
	R 4 －																																																																						
材料	Z 1 軽油 バトロール給油																																																																						
	Z 2 －																																																																						
	Z 3 －																																																																						
	Z 4 －																																																																						
市場単価	S －																																																																						
表3. 1 とりこわし 代表機労材規格一覧																																																																							
項目	代表機労材規格	備考																																																																					
機械	K 1 空気圧縮機〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（ 低騒音型 ）・排出ガス対策型（第 2 次基準値）〕吐出量 3.5～3.7m3 /min 吐出圧力 0.7MPa	賃料																																																																					
	K 2 さく岩機（コンクリートブレーカ） 通称 20kg 級																																																																						
	K 3 －																																																																						
労務	R 1 特殊作業員																																																																						
	R 2 普通作業員																																																																						
	R 3 土木一般世話役																																																																						
	R 4 －																																																																						
材料	Z 1 軽油 バトロール給油																																																																						
	Z 2 －																																																																						
	Z 3 －																																																																						
	Z 4 －																																																																						
市場単価	S －																																																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 1 / 1																																																																				

工 種	橋梁補修工(支取替工)
-----	-------------

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行																																																				
現 行				改 正		備 考																																																		
(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。 表3. 4 沓座コンクリートはつり(支承直下部以外) 代表機材規格一覧 <table><tr><th>項目</th><th colspan="2">代表機材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>橋りょう世話役</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> 3－6 支承アンカーボルト削孔・定着 新規に支承アンカーボルト削孔及びアンカー定着が必要な場合は、下記により別途計上する。 (1) 支承アンカーボルト削孔 支承アンカーボルト削孔は、「第Ⅳ編第3 章道路維持修繕工③落橋防止装置工」による。 (2) アンカー定着 アンカー定着は、「第Ⅳ編第3 章道路維持修繕工③落橋防止装置工」による。 3－7 下部工ブラケット取付 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 5 下部工ブラケット取付 積算条件区分一覧 (積算単位：基) <table><tr><th>ブラケット単部材質量</th></tr><tr><td>600kg 以下</td></tr><tr><td>600kg を超え 2,000kg 以下</td></tr></table> (注) 1. 支承取替工における下部工ブラケット取付、仮置き場からの小運搬の他、電力に関する経費、組立工具、吊上げ設備、クレーン付きトラック運転及び部材取付用消耗材料の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. ブラケット質量、作業半径、吊上げ高さ等を勘案し、必要に応じてラフテレーンクレーン（賃料）を計上する。なお、ラフテレーンクレーンは、現場条件に適合した規格を選定すること。 3. 下部工ブラケットの材料費（製作費含む）は、別途計上する。 4. アンカーボルト定着後の引抜及び定着長測定等の試験費は、別途計上する。 5. 下部工ブラケット撤去は、別途考慮する。 6. アンカーボルト削孔は、「第Ⅳ編第3 章道路維持修繕工③落橋防止装置工」により別途計上する。 7. アンカー定着は、「第Ⅳ編第3 章道路維持修繕工③落橋防止装置工」により別途計上する。 IV-3-②-14				項目	代表機材規格		備考	機械	K1	—		K2	—		K3	—		労務	R1	特殊作業員		R2	普通作業員		R3	橋りょう世話役		R4	—		材料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		ブラケット単部材質量	600kg 以下	600kg を超え 2,000kg 以下	→ 現行どおり 3－6 支承アンカーボルト削孔・定着 新規に支承アンカーボルト削孔及びアンカー定着が必要な場合は、下記により別途計上する。 (1) 支承アンカーボルト削孔 支承アンカーボルト削孔は、「第Ⅳ編第3 章道路維持修繕工③落橋防止装置工」による。 (2) アンカー定着 アンカー定着は、「第Ⅳ編第3 章道路維持修繕工③落橋防止装置工」による。 3－7 下部工ブラケット取付 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 5 下部工ブラケット取付 積算条件区分一覧 (積算単位：基) <table><tr><th>ブラケット単部材質量</th></tr><tr><td>600kg 以下</td></tr><tr><td>600kg を超え 2,000kg 以下</td></tr></table> (注) 1. 支承取替工における下部工ブラケット取付、仮置き場からの現場内小運搬の他、電力に関する経費、組立工具、吊上げ設備、クレーン付きトラック運転及び部材取付用消耗材料の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. ブラケット質量、作業半径、吊上げ高さ等を勘案し、必要に応じてラフテレーンクレーン（賃料）を計上する。なお、ラフテレーンクレーンは、現場条件に適合した規格を選定すること。 3. 下部工ブラケットの材料費（製作費含む）は、別途計上する。 4. アンカーボルト定着後の引抜及び定着長測定等の試験費は、別途計上する。 5. 下部工ブラケット撤去は、別途考慮する。 6. アンカーボルト削孔は、「第Ⅳ編第3 章道路維持修繕工③落橋防止装置工」により別途計上する。 7. アンカー定着は、「第Ⅳ編第3 章道路維持修繕工③落橋防止装置工」により別途計上する。		ブラケット単部材質量	600kg 以下	600kg を超え 2,000kg 以下	記載の変更
項目	代表機材規格		備考																																																					
機械	K1	—																																																						
	K2	—																																																						
	K3	—																																																						
労務	R1	特殊作業員																																																						
	R2	普通作業員																																																						
	R3	橋りょう世話役																																																						
	R4	—																																																						
材料	Z1	—																																																						
	Z2	—																																																						
	Z3	—																																																						
	Z4	—																																																						
市場単価	S	—																																																						
ブラケット単部材質量																																																								
600kg 以下																																																								
600kg を超え 2,000kg 以下																																																								
ブラケット単部材質量																																																								
600kg 以下																																																								
600kg を超え 2,000kg 以下																																																								
積算上の注意事項						(控え頁) 1／1																																																		

工 種	橋梁補修工(現場溶接鋼桁補強工)
-----	------------------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行	
現 行		改 正	備 考
⑫ー3 橋梁補修工(現場溶接鋼桁補強工) 1. 適 用 範 囲 本資料は、橋梁補修工のうち、桁補強を目的とする部材取付等の現場溶接作業に適用する。なお、亀裂補修は含まない。 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 足場の設置 ↓ 部材の製作 ↓ 塗装の除去 ↓ 部材取付 現場溶接工 ↓ 補修塗装 ↓ 足場の撤去 (注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 IV-3-⑫-20		⑪ー3 橋梁補修工(現場溶接鋼桁補強工) 1. 適 用 範 囲 本資料は、橋梁補修工のうち、桁補強を目的とする部材取付等の現場溶接作業(溶接総延長：250m以下)に適用する。なお、亀裂補修は含まない。 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 足場の設置 ↓ 部材の製作 ↓ 塗装の除去 ↓ 部材取付 現場溶接工 ↓ 補修塗装 ↓ 足場の撤去 (注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
積算上の注意事項			(控え頁) 1／1